

令和5年度

# 事業報告書

社会福祉法人 善隣会

特別養護老人ホーム尚古園  
サテライト特養尚古園  
尚古園デイサービスセンター  
サテライト尚古園デイサービスセンター  
グループホーム山径  
デイサービスセンター山径  
尚古園指定居宅介護支援事業所

# 園訓

一、より大切に

一、より優しく

一、より早く

# 目 次

## 法人本部

1. 善隣会の概要	1
2. 令和5年度事業報告	7
3. 運営組織	9
4. 法人教育・研修体系	11
5. 組織図	12

## 特別養護老人ホーム尚古園

1. 利用者生活支援状況	13
2. 年間行事予定	17
3. 職員研修状況	18
4. 施設実習受け入れ状況	19
5. 在宅サービス受け入れ状況	19
6. ボランティア受け入れ状況	19
7. 食事と栄養	20
8. ひまわり会（利用者の会）活動状況	21
9. ご家族との連携	22
10. 利用者の状況	23

## サテライト特養尚古園

1. 利用者生活支援状況	25
2. 年間行事	28
3. 職員研修状況	28
4. 実習生受け入れ状況	29
5. 利用者の状況	29
6. 運営推進会議の開催	31

## 尚古園デイサービスセンター

1. 利用者生活支援状況	33
2. 会議開催状況	35
3. 職員研修状況	35
4. ボランティア受け入れ状況	36
5. 利用者の状況	36

## サテライト尚古園デイサービスセンター

1. 利用者生活支援状況	39
2. 会議開催状況	40
3. 職員研修状況	40
4. ボランティア受け入れ状況	41
5. 利用者の状況	41

## グループホーム山径

1. 利用者生活支援状況	43
2. 会議開催状況	44
3. 年間行事	44
4. 職員研修状況	45
5. 利用者の状況	45
6. 運営推進会議の開催	46

## デイサービスセンター山径

1. 利用者生活支援状況	47
2. 会議開催状況	48
3. ボランティア受け入れ状況	48
4. 利用者の状況	48

## 尚古園指定居宅介護支援事業所

1. 重点目標	51
2. 給付管理状況	52
3. 職員研修等の状況	53

# 法人本部





# 1、善隣会の概要

(1) 沿革	昭和49年9月	社会福祉法人設立認可申請
	昭和50年6月	社会福祉法人善隣会 設立認可
	昭和50年10月	特別養護老人ホーム尚古園新築工事着工
	昭和51年6月	特別養護老人ホーム尚古園完成 事業開始 (50床) 日本自転車振興会助成、山梨県補助
	昭和52年9月	特別養護老人ホーム尚古園新館増床要望書提出
	昭和53年4月	特別養護老人ホーム尚古園新館増床認可
	昭和53年11月	特別養護老人ホーム尚古園新館工事着工
	昭和54年6月	特別養護老人ホーム尚古園新館竣工 (30床) 事業開始 (定員80名) 日本自転車振興会助成、山梨県補助
	平成1年12月	特別養護老人ホーム尚古園スプリングラー設置 日本自転車振興会助成、山梨県・甲府市補助
	平成4年4月	尚古園本館給湯給水設備改修、車両財団助成金 甲府市補助金
	平成12年3月	特別養護老人ホーム尚古園大規模修繕・拡張工事完成 (国保・山梨県・甲府市補助金)
	平成12年4月	介護保険事業者指定 事業開始 ・介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム尚古園) ・短期入所生活介護 (特別養護老人ホーム尚古園) ・居宅介護支援事業 (尚古園指定居宅介護支援事業所)
	平成13年3月	尚古園デイサービスセンター・グループホーム山径 整備計画書提出
	平成14年1月	尚古園デイサービスセンター・グループホーム山径 創設工事着工
	平成14年8月	尚古園デイサービスセンター・グループホーム山径 創設工事竣工、国庫・山梨県補助金
	平成14年11月	介護保険事業者指定 事業開始 ・通所介護 (尚古園デイサービスセンター、定員15名) ・認知症対応型共同生活介護 (グループホーム山径、定員9名)
	平成15年4月	尚古園デイサービスセンター定員20名に変更
	平成15年10月	尚古園デイサービスセンター定員25名に変更
	平成16年3月	介護保険事業者指定 事業開始 ・通所介護 (緑が丘デイサービスセンター、定員8名)
	平成16年11月	駐車場設置工事着工
	平成17年1月	駐車場設置工事完成
	平成17年2月	緑が丘デイサービスセンター定員10名に変更
	平成17年11月	緑が丘デイサービスセンター拡張工事完成
	平成17年12月	機械浴槽を設置 平成17年度年賀寄附配分金
	平成17年12月	尚古園太陽光発電システム設置 新エネルギー財団・東京電力助成
	平成18年2月	尚古園エレベーター改修、設置
	平成18年8月	地域密着型サテライト特養尚古園選定
	平成18年10月	特養尚古園ショート居室増床工事 (8床)
	平成18年12月	ボイラー地上タンク設置、ボイラー改修工事
	平成18年12月	地域密着型サテライト特養尚古園施設設備費、 甲府市助成金交付内定
	平成19年4月	サテライト特養尚古園事業開始
	平成19年7月	尚古園中央デイサービスセンター事業申請提出
	平成19年8月	尚古園中央デイサービスセンター事業開始 サテライト特養尚古園短期入所生活介護申請 (空床型)
	平成19年9月	サテライト特養尚古園短期入所生活介護事業開始 (空床型)
	平成20年7月	特別養護老人ホーム尚古園建物・設備改修工事着工 財団法人車両競技公益資金記念財団補助事業

平成 20 年 8 月	尚古園中央デイサービスセンター競輪公益金補助事業により福祉車両を整備
平成 20 年 11 月	サテライト特養尚古園土地・建物を自己保有資産とする
平成 21 年 4 月	デイサービス山径事業開始
平成 21 年 7 月	サテライト特養尚古園短期入所生活介護休止
平成 21 年 8 月	特別養護老人ホーム尚古園受水槽設置工事開始
平成 22 年 3 月	尚古園デイサービスセンター日本財団補助事業により福祉車両を整備
平成 22 年 8 月	サテライト特養尚古園スプリンクラー設備費、甲府市助成金交付決定
平成 22 年 9 月	特別養護老人ホーム尚古園浴室棟増築工事完成
平成 22 年 11 月	サテライト特養尚古園・尚古園中央デイサービスセンタースプリンクラー設置工事完成
平成 23 年 9 月	サテライト特養尚古園 高圧電気設備の全面更新
平成 24 年 4 月	特別養護老人ホーム尚古園 居室廊下等全面改修工事(8月終了) 照明器具省エネ改修工事(尚古園・尚古園デイ・グループホーム)
平成 24 年 9 月	尚古園ガス設備工事・業者変更 バルク及び旧配管撤去、新規ガスボンベ保管庫設置(厨房横)
平成 24 年 12 月	尚古園中央デイサービスセンター事業休止
平成 25 年 1 月	サテライト特養尚古園 併設型ショートステイ 6床開設
平成 25 年 5 月	事業用敷地購入(甲府市緑が丘一丁目 158 番 面積 872.79 m <sup>2</sup> )
平成 25 年 8 月	尚古園中央デイサービスセンター事業廃止
平成 25 年 11 月	サテライト特養尚古園 併設型ショートステイ事業廃止
平成 25 年 12 月	特別養護老人ホーム尚古園 中央競馬馬主社会福祉財団補助事業により福祉車両を整備
平成 26 年 4 月	サテライト尚古園デイサービスセンター事業開始(定員 10名)
平成 26 年 10 月	尚古園空調設備改修
平成 27 年 3 月	サテライト尚古園デイサービスセンター日本財団補助事業により福祉車両を整備
平成 27 年 7 月	サテライト特養尚古園エレベーター改修工事
平成 27 年 10 月	サテライト特養尚古園サッシ入替その他改修工事
平成 28 年 3 月	グループホーム山径エアコン改修工事
平成 28 年 7 月	尚古園短期入所生活介護事業定員変更(定員 8名→定員 10名)
平成 28 年 10 月	サテライト特養尚古園多目的室設置工事
平成 29 年 4 月	尚古園、サテライト特養尚古園防犯設備設置工事
平成 29 年 11 月	尚古園居室区分変更工事
平成 29 年 12 月	サテライト特養尚古園ガス給湯器交換工事
平成 29 年 12 月	尚古園デイサービスセンター壁紙張り替え工事
平成 30 年 2 月	尚古園デイサービスセンター昇温配管更新工事
平成 30 年 2 月	尚古園電話設備更新工事
平成 30 年 2 月	尚古園移動式消火設備設置及び火災通報装置連動工事
平成 30 年 4 月	サテライト特養尚古園ガス給湯器交換工事
平成 30 年 5 月	サテライト特養尚古園 2 階、3 階手すり設置工事
平成 30 年 8 月	サテライト特養尚古園排水管改修工事
平成 30 年 10 月	尚古園玄関自動ドア電気錠設置工事
平成 30 年 12 月	尚古園機械浴入れ替え工事
平成 30 年 12 月	尚古園換気扇改修工事
平成 31 年 3 月	尚古園ガス給湯器取替工事
令和 1 年 9 月	緑が丘デイサービスセンター事業休止
令和 2 年 2 月	緑が丘デイサービスセンター事業廃止
令和 3 年 1 月	尚古園プレハブ面会室設置(新型コロナウイルス対策用)
令和 3 年 12 月	尚古園新館屋上北側防水改修工事
令和 4 年 1 月	尚古園指定居宅介護支援事業所移転
令和 4 年 3 月	尚古園入所定員増(84名)認可(尚古園ショートの特養転換)
令和 4 年 3 月	基本財産の処分(尚古園の進入道路(266.5 m <sup>2</sup> )を山梨県に売却)
令和 5 年 2 月	尚古園 LED(省エネ設備)改修工事
令和 5 年 3 月	尚古園静養室及び居室プライバシー改修工事



令和5年 3月 尚古園見守りカメラ導入及びWi-Fi環境整備工事  
 令和6年 3月 尚古園デイ ICT (介護記録システム) 導入

(2) 規模 敷地面積

甲府市和田町2948-6 外 (一部借地) 7,303.48 m<sup>2</sup>  
 甲府市緑が丘1丁目158番2,4,11,13 872.79 m<sup>2</sup>  
 甲府市中央1丁目446番地 505.11 m<sup>2</sup>

延床面積

特別養護老人ホーム尚古園 3,056.31 m<sup>2</sup>  
 尚古園デイサービスセンター 389.85 m<sup>2</sup>  
 グループホーム山径 473.91 m<sup>2</sup>  
 サテライト特養尚古園 923.62 m<sup>2</sup>  
 サテライト尚古園デイサービスセンター 220.20 m<sup>2</sup>

(3) 法人の概要

法人本部・事業所の所在地	本部・主たる事業所	山梨県甲府市和田町2948番地の6			
	サテライト特養 サテ・デイサービス他	山梨県甲府市中央1丁目16番地2			
代表者名	廣瀬 朱實	法人認可年月日	昭和50年6月24日	法人登記年月日	昭和50年7月9日

(4) 法人の実施事業

事業の種類		施設・事業種別	名称	施設長名 事業所長名	定員
社会福祉事業	第一種社会福祉事業	介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム尚古園	西山高美	84名
		介護老人福祉施設	サテライト特養尚古園	清水 努	20名
	第二種社会福祉事業	短期入所生活介護事業 (介護予防含)	特別養護老人ホーム尚古園	西山高美	6名
		短期入所生活介護事業	サテライト特養尚古園 短期入所生活介護事業所	清水 努	(空床型)
		通所介護事業 (介護予防・総合事業含)	尚古園デイサービスセンター	草場裕美子	25名
		通所介護事業 (介護予防・総合事業含)	サテライト尚古園デイサービスセンター	堤 輝美	10名
		認知症対応型 共同生活介護事業	グループホーム山径	相原 司	9名
認知症対応型 通所介護事業	デイサービスセンター山径	相原 司	3名		
公益事業	居宅介護支援事業	尚古園指定居宅介護支援事業所	中村晃紹	—	

## (6) 理事会・評議員会開催状況

## (理事会)

開催年月日	出席者数	議 決 事 項
令和5年5月23日	理事 5名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度 事業報告について</li> <li>令和4年度 決算報告（監査報告）について</li> <li>理事・監事の退任について</li> <li>理事・監事候補者の選定について</li> <li>定時評議員会の招集と提出議案について</li> </ul>
令和5年6月22日	理事 6名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事長の選定について</li> <li>業務執行理事の選定について</li> </ul>
令和5年10月24日	理事 6名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度補正予算について</li> <li>職員給与規程の一部改正について</li> <li>評議員の退任及び評議員候補者の推薦について</li> <li>臨時評議員会の招集と議題決定について（決議の省略）</li> </ul>
令和6年3月22日	理事 6名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度補正予算について</li> <li>令和6年度事業計画について</li> <li>令和6年度予算について</li> <li>給与規程の改正について</li> <li>役員報酬規程の改正について</li> <li>臨時評議員会の招集と議題決定について（決議の省略）</li> <li>新規事業の提案について</li> </ul>

## (評議員会)

開催年月日	出席者数	議 決 事 項
令和5年6月18日	評議員5名 理事 2名 監事 2名	定時評議員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度事業報告について</li> <li>令和4年度決算（監査報告）について</li> <li>理事・監事の退任及び次期理事・監事の選任について</li> </ul>
令和5年12月13日	評議員7名	臨時評議員会（決議の省略） <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度補正予算について</li> <li>給与規程の改正について</li> </ul>
令和6年3月31日	評議員7名	臨時評議員会（決議の省略） <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度補正予算について</li> <li>令和5年度事業計画について</li> <li>令和5年度予算について</li> <li>給与規程の改正について</li> <li>役員等報酬規程の改正について</li> </ul>

## (7) 法人経営会議開催状況

開催年月日	議 事
令和5年4月28日	年度初めに当たって、ネパール技能実習生、体調管理、事業所指定更新について、在宅部門の状況について、人事について、賞与支給に関する勤務評価表の提出、有給休暇取得計画の提出、理事会開催、法人経営状況報告、令和5年度認知症介護実践研修の受講対象者及び申込み ほか
令和5年5月26日	理事会報告、事業所5Sno取組み、定時評議員会の開催について、令和4年度決算報告、コロナワクチン接種について、事業所パンフレットの見直し、在宅部門の状況について、令和4年度事業報告、人事について、書類の整理、スピーチコンテスト ほか
令和5年6月23日	評議員会報告、理事会報告、夏季賞与の支給について、5S活動について、尚古園道路の通行について、処遇改善加算・特定処遇改善加算・ベースアップ支援加算の支給について、集団指導の対応について、令和5年度指導監査実施計画及び対応について、在宅部門の状況について、高齢者虐待防止について、権利擁護等県主催の研修参加について、人事について、6月賞与分の勤務評価の結果について、法人経営状況報告、尚古園電気設備保守に伴う停電について、エアコン使用時の節約、七夕、支出増加についての対応 ほか
令和5年7月28日	・公用車・自家用車の運転、感染症予防対策及び熱中症予防のための水分補給、人員の補充、在宅部門の状況について、人事について、法人経営状況報告、公共料金について、第三者委員会開催について ほか
令和5年8月25日	新型コロナウイルス感染症対応、自転車通勤者へ、5S活用、各事業所の夏祭りに参加して、社用車の運転、国際福祉機器展参加、給食の値上げについて、在宅部門の状況について、人事について、法人経営状況報告、令和5年度補正予算調書 ほか
令和5年9月27日	社会福祉経営者協議会全国大会参加報告、運営指導の実施について、法人理事会の開催について、5S活動について、山梨県福祉施設等物価高騰対策賃上げ支援金について、コロナワクチンの接種について、在宅部門の状況について、入所施設の健康管理・受診対応について、人事について、緑が丘事業用地活用策の見直し、法人経営状況報告、甲府市社協表彰、法人感染員会（インフルワクチン接種） ほか
令和5年10月26日	上半期の経営状況報告、稼働状況改善（入院者対策）、制度改正対応（令和5年度未猶予）事項の報告、理事会の開催結果について、車両の運転について、居宅介護支援事業の給付管理業務の対応について、在宅部門の状況について、人事について、賞与支給に関する勤務評価表の提出について、法人経営状況報告、令和5年度補正予算の執行について、消防署立ち入り調査、伐採作業の実施 ほか
令和5年11月24日	賞与の支給について、インフルエンザ予防について、火の始末について、安全運転について、表彰「(知事、県社協)、指定更新について、在宅部門の状況について、人事について、12月賞与の査定結果について、法人経営状況報告、令和6年度予算調書提出、電気使用量について、資金収支計算書の活用について ほか
令和5年12月22日	安全運転の徹底について、年減年始の対応について、第2回全国老人福祉施設大会・研究会議の参加について、老施協20年表彰、令和6年度制度改正について、在宅部門の状況について、在宅サービスの年末年始の営業予定、苦情報告、第三者委員の開催について、人事について、雇用意向調査について、法人経営実績報告、プレハブ会議室設置、エアコン設定温度について ほか
令和6年1月26日	経費の削減について、年度末に向けて、安全運転について、令和6年度法人委員会及び会議の報告について、介護保険制度改正について、在宅部門の状況について、人事について、法人経営実績報告、予算執行状況報告、電気の使用状況について ほか
令和6年2月28日	尚古園新型コロナウイルスクラスター報告、コロナ感染症の対応について、火の用心、車の運転注意、令和6年度事業計画の作成について、令和6年度法人委員会及び会議の開催について、在宅部門の状況について、令和6年度法人事業方針について、人事について、法人経営実績報告、令和5年度山梨県テクノロジー補助金内示（尚デイ）、法人理事会開催 ほか
令和6年3月21日	令和5年度総括、決算賞与について、処遇改善補助金の支給及び給与規程の一部変更について、令和5年度予算執行状況報告、在宅部門の状況について、人事について、令和6年度年度初め式・辞令交付式について、法人経営状況報告、法人委員会について、法人理事会について、事業報告書の作成について ほか

## (8) 善隣会職員数 (令和6年3月31日現在)

事業所	職員数					異動 (年間)			
	正職員	嘱託職員	パート	非常勤	合計	採用	退職	異動 出 入	
法人本部	2	1	0	0	3	0	0	0	0
特別養護老人ホーム 尚古園	42	10	10	2	64	13	6	3	1
サテライト特養 尚古園	10	3	2	0	15	4	4	0	0
尚古園デイサービスセンター	4	4	0	0	8	1	6	0	2
サテライト尚古園デイサービス	2	2	3	0	7	1	1	0	0
グループホーム山径	6	2	2	0	10	0	0	1	1
尚古園居宅介護支援事業所	1	1	0	0	2	0	0	0	0
合計	67	23	17	2	109	19	17	4	4

## 2、令和5年度事業報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5月8日から5類となり、クラスター発生時の支援や衛生用品の支給も年度末には殆どなくなりました。そんな中、特養尚古園では令和6年2月2日にご利用者2名と職員1名の新型コロナの感染者が確認され、終息となる3月7日までに、ご利用者40名と職員13名の大規模なクラスターが発生し、ご利用者や関係者の方々に多大なご心配とご迷惑をおかけする結果となってしまいました。

なお、今回のクラスターは今年度の重点目標であった新型コロナ感染症対策はもちろんですが、健全な法人経営の推進やBCPの策定についても関連があり、クラスターによる稼働率の低下や感染対応用品の購入費用など、今後の感染症発症時の初動対応や拡大防止措置などにも大きく影響を与える事態として受け止めなければならない事態でありました。

また、年間17名の退職者は、昨年度の16名と同様に、人不足による人員基準を満たすために、民間の人材紹介を活用せざるを得ない状況であり、結果、人件費関連の支出増加となり、稼働率低下による収入減少とともに人件費関連の支出増加も、ここ数年の経営状況の低下の要因となっております。

なお、令和5年度は厚生労働省による全ての事業所を対象とした介護事業経営実態調査が行われたが、全サービス平均の収支差率は2.4%であり、その内、介護老人福祉施設は▲1.0%と厳しい結果となっており、善隣会においても収支差額がマイナスであることから、全国的に令和5年度は大変厳しい結果であったといえます。

### 重点目標について

#### 1、健全な法人経営の推進

##### (1) 経営の安定化への対応策

法人経営の安定化を図るため、全職員が一丸となって経費の節減や稼働目標の達成に向けて取り組んでまいりましたが、今年度の介護保険収入は627,002千円と前年度6,985千円の減少となりました。この中には、昨年度の処遇改善・コロナ対策補助金の10,000千円と同様に山梨県による物価高騰対策支援金等の18,000千円を含んでおり、今年度の事業活動計算書におけるサービス活動収益は628,948千円と前年度を6,083千円下回る結果となりました。

支出に関してはサービス活動費用合計650,456千円であり、内訳は人件費462,801千円、事業費99,872千円、事務費65,643千円で前年度と比較して▲1,727千円、▲6,389千円、3,045千円と給食委託費の値上げによる4,390千円等もありましたが、前年度と比較して▲6,428千円の減少となりました。なお、尚古園の新型コロナウイルスクラスターに伴う、判定キットや感染防護用品、消毒等の衛生用品の購入費用として臨時支出となった1,300千円も含まれております。

今年度の当期増減差額（当期純利益）は▲19,368千円と厳しい結果となりましたが、大きな要因は令和5年度の当初予算時の介護保険事業収入649,438千円の予定に対して、今年度は稼働率を達成することができず、今年度の実績と当初予算額との差額は▲22,436千円でありました。

このような状況はここ数年継続しており、その解決策として令和5年度は組織体制の見直しを行い在宅サービスの稼働率を確保するための取り組みを進めてまいりました。

具体的な取り組みとしては、今年度は、新たに「在宅サービス統括管理者」を新設し、地域支援から施設支援までが一体的に行えるように取り組んできました。それぞれの事業所で支援を完結するの

ではなく、将来的に施設入居を希望されるご利用者が施設に入居しても、それまでの生活での繋がり（家族、友人、地域等）を切らすことがないように各事業所管理者を指揮してきました。

また、「在宅サービス連絡会議」を毎月開催し、情報の共有や支援方法などを一事業所の範囲を超えて話し合うことで、ご利用者が法人すべての施設サービスを安心して利用できる仕組みを整えてきました。

この様な取組みは、今後の在宅部門の稼働の安定化を図る目的もあり、徐々に成果が表れてきており、年度後半には新規利用者の登録者を大きく伸ばす結果にも繋がったと評価しています。

しかし、年間を通じての稼働実績は感染症や施設入所への移行などから思うような結果とはならず、今後は今までの取り組みを継続しつつ、評価いただいた分野のアピールにより力を入れて行きたいと考えております。

## （2）働きやすい職場づくり

「働きやすい職場」を作るために、昨年に引き続き⑦人間関係が良好で雰囲気と風通しの良い職場づくり ⑧ケアに対する満足度の向上 ⑨業務量に配慮した適正数の配置（業務負担の軽減） ⑩健康管理の推進（メンタル・腰痛等）⑪介護機器等の導入 ⑫仕事と育児・介護の両立、などに対する取り組みを強化してまいりましたが、年間を通じて大きな問題もなく、一定の成果は得られたと考えております。

## （3）緑が丘事業用地の活用（緑が丘一丁目158番地（867.21㎡））

緑が丘用地の活用は、今年度の事業計画の重点目標として取り組んでおりましたが、10月の理事会において報告を行った通り、長引く新型コロナウイルス感染症の影響等により、この活用策が現況の地域ニーズに適應しているのか、また、法人経営上の観点からも最良の方策であるのかとの疑念が生じ、また理事からも当該事業の推進に当たっては、法人の経営状況や地域需要、また現下の建築費の高騰などを十分考慮する必要があるとのご意見をいただいたことから、当該活性化策は一旦凍結することになりました。

## 2、介護 ICT 導入の推進について

今年度の ICT の導入については、尚古園デイサービスセンターが申請を行っていた令和5年度テクノロジー補助金事業の交付決定を受け、介護記録システム導入事業を行っております。

また、前年度尚古園に導入した見守り機器の活用は、介護職員の負担軽減やベッドサイドにおける転倒事故防止の減少などについて一定の効果かが得られており、また映像による検証は入所者の状況に応じた個別ケア促進に活かされております。

また、今年度はサテライト尚古園における見守り機器の導入に向けての検証を進めてまいりましたが、夜間帯を最小人員で夜勤業務を行っているサテライト尚古園においては、見守り機器の導入は大きな導入効果が得られるとして、取り組みを推進しております。

全国的にも ICT を活用した取り組みは推奨されておりますので、今後も他の事業についても ICT 導入に向けて検証を進めてまいります。

## 3、BCP（業務継続計画）の策定について

介護事業所の BCP は、感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる方法や手段を取り決めておく計画であります。制度改正により全ての介護サービス事業所に策定が義務付けられておりますので、今年度末において全ての事業所で策定が完了しております。

但し、今年度尚古園で発生した新型コロナウイルス感染症において、発症時から終息時までの BCP 対応は、手探りで行われた内容も多くあり、また感染終息後に見直しをすべき内容も多くあったことから、BCP の定期的な見直しについても、今後の課題であるとともに、法人事業所間の連携や法人の全体統

制や意思決定も必要であると考えております。

いずれにしても、善隣会の事業所のサービスを利用する全ての利用者や、家族への信頼が維持できるように、実効性のある計画策定に努めてまいります。

#### 4、新型コロナ感染症対策

善隣会では、前述の通り尚古園において2月～3月にかけてクラスターが発生しましたが、特養施設内で発症したいずれの感染症においても、ご利用者からの発症の可能性は極めて低く、今回の感染症も施設職員からの持ち込みよると考えております。

終息後に、今回のクラスターに関する検証を行いました。これまでの間、新型コロナウイルスが持ち込まれていないことから、施設内の基本的な感染対応は一定の成果はあったものの、発症後の初動対応や蔓延防止措置などは、今後の課題として見直していく必要があります。また、BCP対応についても施設内への周知や有効な訓練の実施などは、次年度に向けて検討していく必要があると考えております。

今後、新型コロナに限らず感染症対策は求められますが、感染症のまん延はご利用者の安全を脅かすだけでなく、安定した法人運営においても影響を及ぼす恐れがありますので、法人及び各事業所として今後も重点課題として取り組んでまいります。

#### 5、外国人技能実習生の受入れ

令和5年度のネパール介護技能実習生2名の受け入れにより、法人内の外国人技能実習生の受入れは5名となりました。

すでに、インドネシア実習生3名は、年度末で2年を経過しますので、残りの実習期間は1年となり、今後、在留資格を変更して、特定技能として5年間の延長とするか等の判断が求められますが、日本での生活には十分馴染んでおりますが、介護職員としては個々の能力の差が明らかとなり、必ずしも全員が介護職員としてひとり立ち出来るということではない状況であります。

今後は、担当者の教育方法なども見直ししながら、受入れを継続するかを検討していく必要があると考えております。

ネパール実習生2名は入国後の、日本語能力試験N3にも合格し、着実にレベルアップしてきておりますので、引き続き生活面と業務面で順応できるよう支援してまいります。

国内の介護業界の人員不足は相変わらず深刻な問題でありますので、優秀な外国人材を確保することは、今後の法人運営における重点課題であります。新たに創設される育成就労制度を活用するだけでなく、留学生や特定技能の受け入れなど、今後の検討を進めてまいります。

## 3、運営組織

### 委員会

#### 〈第三者委員会〉

苦情などの適切な解決を目指し対応してきた。年2回(8月と2月)開催され「苦情申し立て」について報告がされた。また、苦情とは別に利用者等から寄せられたニーズ等へ対応してきた状況について報告もされた。会議では第三者委員から、より良い支援につなげられるようなアドバイスやご意見を頂いた。

下半期は感染対策のために書面開催となったが、各事業所や委員からの意見等のコメントが多く寄せられ充実できる内容となった。

### 第三者員委員会苦情報告件数

(上半期) →①特養…0件、②サテライト特養尚古園…0件、③GH山径…0件、④尚古園デイ…0件、⑤サテライトデイ…0件、⑥山径デイ…0件、⑦尚古園居宅…0件

(下半期) →①特養…0件、②サテライト特養尚古園…0件、③GH山径…0件、④尚古園デイ…0件、⑤サテライトデイ…0件、⑥山径デイ…0件、⑦尚古園居宅…0件

### 〈教育・研修委員会〉

個々の事業の実情に沿った内容で、各事業所リーダーが自事業所の研修を計画し、実践していく形で進めてきた。担当職員にとって、計画～準備～実施～報告の一連の流れを実践し、知識を深め、人に伝える技術などの学びの機会となり、各事業所リーダーのみでなく中堅職員のスキルアップに繋がる貴重な機会となっている。

次年度は、リーダー教育を重点課題として取り組んで行きたい。

### 〈リスク対応委員会〉

高齢者施設において発生しうるリスクに対応するために、総合的にリスクに対応できる委員会として活動を行ってきた。

特に新型コロナウイルス感染症の予防対応については、特養尚古園においてクラスターが発生してしまい、稼働率低下及び対外的な課題が生じてしまった。今回のクラスターを教訓に今後の感染対策を徹底するとともに、感染者が発生した際の対応を踏まえた業務継続計画（BCP）の策定など、高齢者事業所として安全に安心して利用していただける対策の必要性を感じている。

### 〈衛生委員会〉

職員の健康診断の結果に基づき実施した保健指導及び産業医の指導による腰痛対策などを通じて、職員の健康管理の取り組み等を実施した。

メンタルヘルス対策及び腰痛対応については、産業医と連携して予防対策を中心に必要な対応を実践することで、職員が安心して仕事ができる体制を整えた。

## 会 議

### 〈法人経営会議〉

理事長・常勤理事及び各事業所の管理者等で構成し、法人運営の最高決定機関として、法人事業全体の適切な運営及び経営について協議を行った。

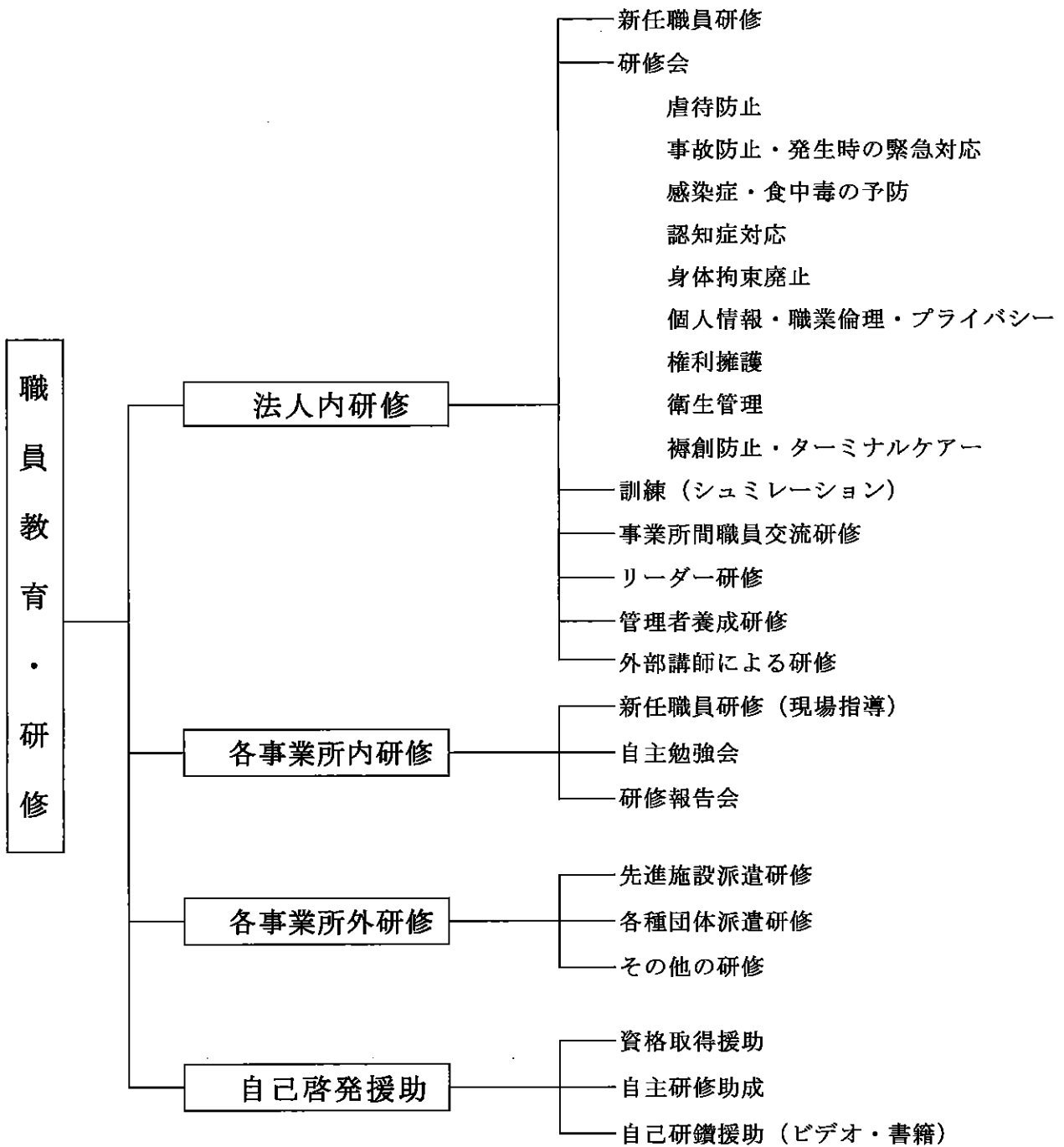
理事長及び業務執行理事から経営状況や当面する課題や人事を中心とする組織運営状況、法人事務局長から介護事業収入状況や介護情報の提供が行われた。また、各事業所の稼働状況（稼働率）への対応や施設整備に関する協議、また、直面している各種課題についての協議・検討を行い、積極的な議論の場としての活用を図る中で重要業務の意思決定を行ってきた。

### 〈在宅サービス連絡会議〉

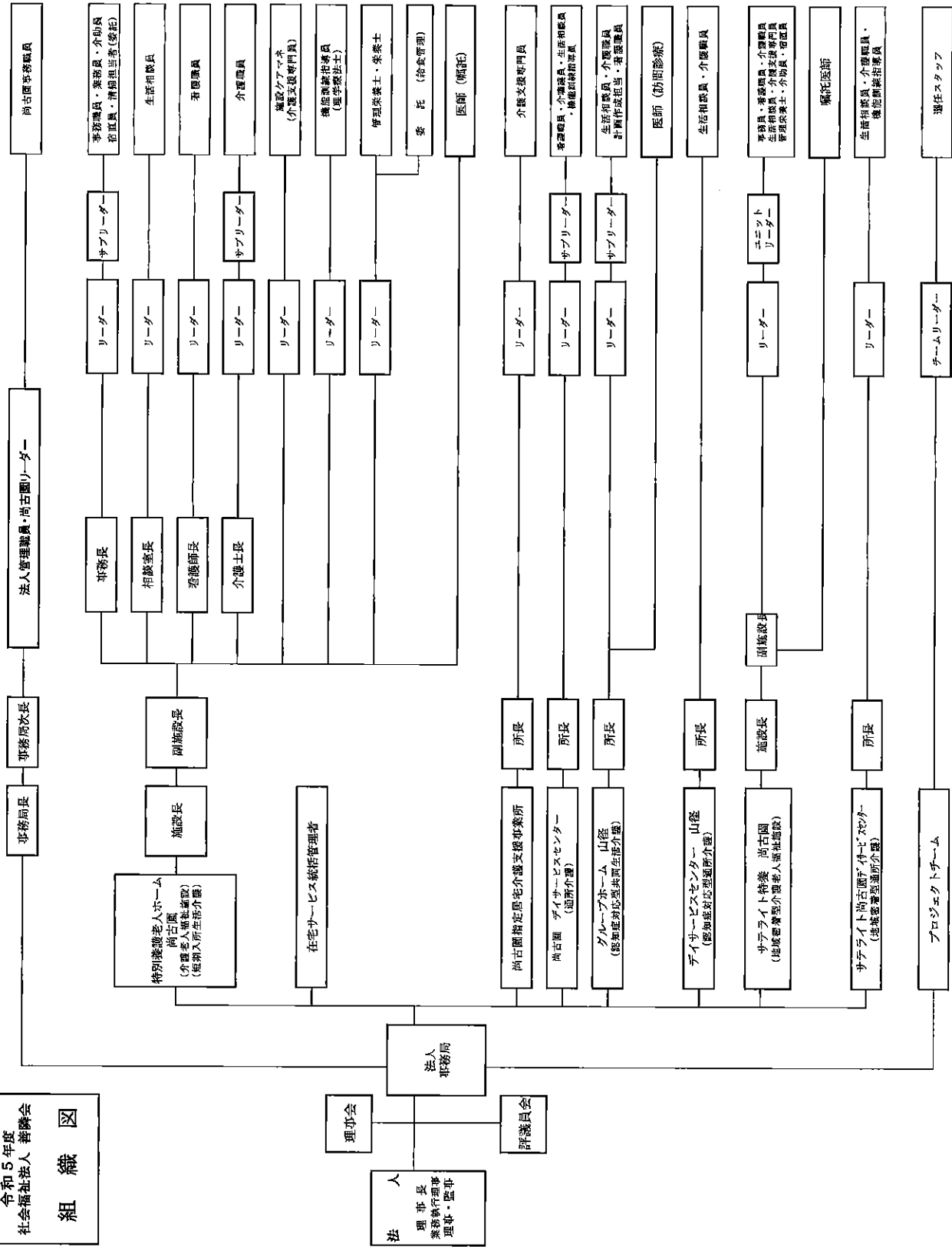
各事業所の運営者・生活相談員等で構成し、各事業所の持つ情報を共有しつつ協力し合い、多様化する利用ニーズに合うサービス提供やより良いケア実践を行うための検討と意見交換の場として開催した。



(福) 善隣会 令和5年度職員教育・研修体系



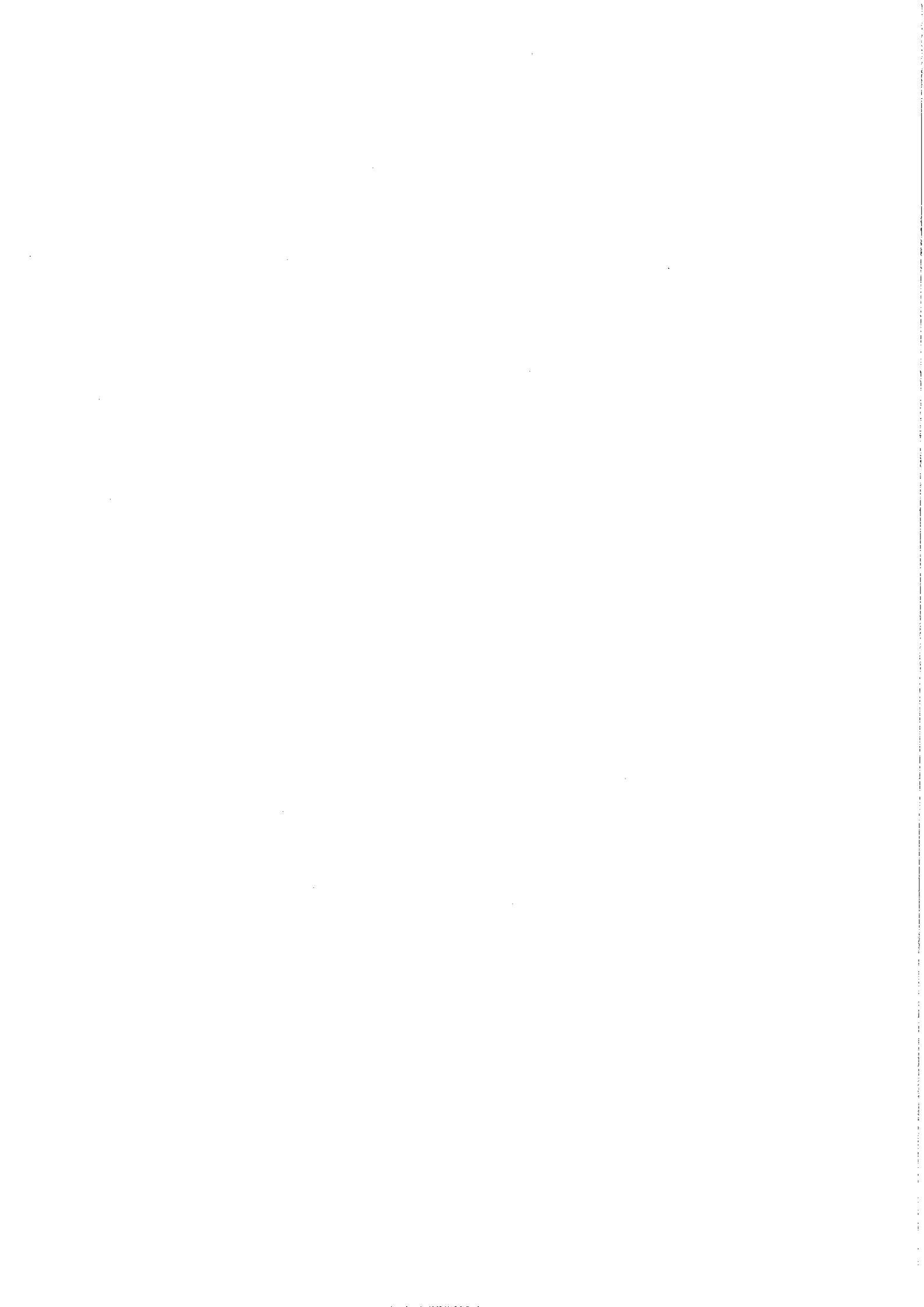
令和5年度  
社会福祉法人 善隣会  
組織図



\* この組織図は、令和5年度の機能組織図です。運営上、年度の途中で変更することがあります。

# 特別養護老人ホーム尚古園





# 1、利用者生活支援状況（報告）

## （1）支援方針総括

『ご利用者の立場に立った生活支援をすすめること』を基本とし、施設サービス計画に基づき一人ひとりに適した速やかで柔軟性のある援助を効果的に行うため、他職種間の連携を密にして心身の健康保持と自立支援に努め、生活の活性化が図れるように取組みを進めた。

今年度は施設内で初めての新型コロナウイルスのクラスターとなり、ご利用者や関係者に対してご迷惑やご心配をかけてしまったことは深く反省していなければいけなし、今後につなげていくことが施設運営に求められる。感染症対策の重点目標としてBCP（業務継続計画）を定めていたが、外部支援団体の指導を受けて施設内でのルール、対応など、さらに内容を突き詰めていくことが必要であると感じた。

ICT活用による科学的介護の取組みは、尚古園は比較的、早くに導入を進めており一定の成果は得られているとも思うが、科学的介護の取組みが実現できているかは、導入したICT機器を有効に活用することと、導入した機器に連携できる機器を導入していく等まだ課題が多いと感じる。

あと、大きな課題としてご利用者の入院者が年々増加していることについては、ご利用者が安心して生活できることへの対応として重要であることは当然であるが、法人運営の中心を担う尚古園の稼働が安定しないことは、法人の屋台骨が揺らぐことに直結する事態として重く受け止めなければならない。

以上、今年度は次年度に向けて課題が多い1年であったと思うが、全ての課題を一度に解決することは出来ないため、人事や設備更新など、ひとつひとつ解決に向けての取組みを進めていきたいと思う。

また、今年度よりネパールの技能実習生を2名受け入れたが、ご利用者からも信頼され、介護スタッフの一員として定着することができた。

## （2）各部署からの報告

### <事務>

- ・ 事務長がサテライト尚古園施設長へ異動となったため、特養尚古園にて担当していた設備関係などの業務を引き継ぎ、各事業所の業務が円滑に遂行できるように取り組んだ。1人当たりの業務量は増加したが、特にトラブルなく対応ができた。
- ・ 国際福祉機器展へ介護スタッフと参加し、業務効率化へ向けて機器及びシステムの情報収集を行い、来年度以降の導入に向けての足掛かりとした。
- ・ 新たにネパールから2名の技能実習生を迎え合計5名の生活指導員として、日本語能力向上の対応や生活面での支援を年間通じて実施することができた。
- ・ 新型コロナウイルスが施設内で発生した際は、衛生用品の管理・食事提供の補助などサポート業務を積極的に実施した。

### <医務>

- ・ 嘱託医である深澤内科クリニックの深澤学医師と連携して「高齢者の生活ニーズに合わせた総合的な健康管理」に取り組んできたが、温厚な性格である深澤医師の対応はご利用者やご家族からも好感を頂いており、日々の小さな困りごとにも気軽に相談ができたなど、利用者様やご家族様からの感謝の言葉が多く聞かれた。

医務としては、高齢で基礎疾患を持ち、また人生の最終章にある方々をあずかる立場であることに留意した対応を心掛け、ご利用者が安心して安全に生活できるための支援を行ってきた。

- ・ 施設での看取り対応は、各ケースとも、家族への説明と要望を踏まえた話し合いを重ね、他職種との協働のもと医療専門職としての役割を果たした。
- ・ 健康診断として血液検査と胸部レントゲン検査を実施し、検査結果に基づいて、嘱託医との連携下での内服治療や日常の健康管理に努めた。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の初めて施設内への持ち込みがあり、40名のご利用者が陽性となった。今回の反省を生かし、再度入所者に感染が起きても最小限にとどめられる様来年度は発生時の対応や教育訓練を行っていく。
- ・ 訪問歯科は令和5年度から甲府デンタルクリニックへ変更を行った。

#### <管理栄養士>

- ・引き続き、栄養マネジメント強化加算の算定を行っている。栄養ケアプロセスにより、科学的根拠に基づいた栄養管理を実践できた。また、施設多職種・給食委託業者との連携により、食事内容や栄養管理について情報交換や課題についての取り組みが実施できた。
- ・栄養カンファレンスを通して、多職種で栄養管理について評価し、改善策を実施することができた。同時に、栄養部門からの栄養管理に関する情報発信を行った。
- ・各職種と連携し、行事食やイベントを充実させることができた。食事は体調管理の基本であると同時に、生活の中に楽しさを与えるものでもある。令和6年度も、日常の食事だけでなく、行事食等を充実させていく。

#### <介護>

- ・入院者のケアの振り返りを行う事で経験値からだけのケアではなくその方の生活歴を振り返り、既往歴や内服なども振り返り様々な角度から考える機会となり、次に繋げる動きができた。
- ・ルールの徹底不足や思い込みによる事故が続いてしまった。その都度しっかりと原因を検証し、対策の周知を行わなければならない。
- ・ICTや介護ロボットの活用方法についての応用が利くようになってきた。
- ・コロナクラスターを経て、今後も感染症対応についての職員教育、指導による対応力の向上に努めるとともに日頃から利用者様の状態変化に気が付けるように関わっていく必要がある。

#### <生活相談員>

- ・退所者数は年間42名（男性12名女性30名）と昨年度より18名増となった。うち看取りケアは18名となり、昨年より4名多く対応した。また看取りケアを実施せずご逝去された方が6名。また救急搬送後ご逝去された方が3名。体調不良で入院されたが、治療中より医療依存度が高くなるケースが増え、療養可能な施設への移行を選択された方が9名いらした。
- ・新型コロナウイルス感染症蔓延の為、罹患者、罹患者以外のご利用者様のケアがゆき届かず2月、3月の間12名退所となってしまった。新型コロナウイルス感染症対策が解除となるまで入所、ショート受入れが出来ず稼働率が大幅に下がってしまった。
- ・入院による空床数は昨年比436床増となり、年間平均入所稼働率は昨年度を2.38%下回った。
- ・ショート数が減少したことで単発SSの希望時に男女比の居室がない、Aフロアでの空床のみであった場合に備え、ボランティアルームを2名部屋（トイレ配置なし）に変更。今後は法人内が対応しているご利用者や緊急の受け入れに備える事が可能となった。既に利用開始となっている。
- ・新型コロナウイルス感染症対策により、オンライン面会、ガラス越し面会を実施したほか、面会中止期間には、事務連絡にご利用者の生活の様子を掲載して、ご家族に安心して頂けるようにした。
- ・新型コロナウイルス感染症対策により、ボランティアの受け入れは中止。各種行事についても施設内開催とし、感染症対策に努めた。

#### <機能訓練担当>

- ・日常生活動作や身体機能を3か月に1度評価した上で、出来るだけ長く現在の生活が継続出来るよう訓練計画を作成・実施した。また、介護スタッフと協力をして御利用者の自立支援や安全に繋がる介入を検討・実施した。
- ・必要に応じて、補助具や介護用品の必要性を検討し、安全な日常生活動作や安楽な姿勢に繋がるよう対応をした。
- ・リハビリの他に御利用者の居室環境、衣類・整容などの清潔管理の面で関わりを持った。
- ・新型コロナウイルスによるクラスターの発生でBCPに沿った対応に追われ、通常の個別機能訓練の機会

を設けることが出来なかったが、通常業務に戻った際には、身体機能・日常生活動作の再評価を行い、現状の身体状況にあった個別機能訓練や日常生活動作の援助を提供できるように努めた。

#### <介護支援専門員>

- ・ 園の生活支援方針を念頭に置いて、ご入所者とご家族の意向を汲み取り出来る限り個別性と自立支援を目指した施設サービス計画書の作成を実施した。
- ・ サービス担当者会議において、ご入所者の状態をご家族とは、電話やオンライン会議を活用し生活の様子や全身状態の共有に努めた。職員間では、生活上の具体的な課題や援助方法を明確にし、園での生活が充足し、且つご家族との関係性を構築することを意識し話し合いを行った。  
令和6年度は、サービス担当者会議にご家族をお呼びし、更なる関係性構築とご家族がケアへ参加できる様に調整していく。
- ・ 終末期に対するお考えの確認については、様々な視点を持ってご家族の意向を汲み取る工夫が必要だと感じ、多職種協働で支援を進めて来た。今後も迷いながらも、ご本人、ご家族ともに安心して最期までケアを受けて頂ける様に意思決定を支援していく。更に、職種間の看取り介護や終末期に対する考え方を統一できる様に、コミュニケーションを図って行く。
- ・ 多職種と連携し、直面する課題を放置しないように都度、カンファレンスを開催し話し合う事で、アドバイスを得る様に努力した。
- ・ 平成27年度以降、特養への入所基準が要介護3以上となり、継続的な医療を必要とする基礎疾患を抱え入所される方も多い。施設の役割として重度の方をお受け入れていくためには、現状の課題に対して、益々多職種の連携が重要であり、各専門職とコミュニケーションを図りながら支援を進めて行く。
- ・ 平成31年度、令和元年より、施設介護支援専門員が2名体制となり、6年が経過した。これまで以上に、個々のご入所者に対する状況の把握や、課題の分析が行える様になったと感じる。しかし、現在の尚古園の課題として、年齢と共に重度化され、より多角的なご支援が必要となられた方と共に、認知症状を伴う行動障害等により、ケアの困難さや転倒骨折に至るケースが見られる。認知症ケアを深め、事故を未然に予防する取り組みが求められています。安心、安全にお過ごし頂く為に、必要なケアや安全対策等も計画書に位置付けられる様に、2名で連携し、より細やかに、より迅速に皆様の安全で安心な生活をお手伝いさせて頂ける様に取り組みます。
- ・ 新型コロナウイルス発生に伴い、ご入所者、ご家族に不自由な生活を強いており、お互いに少しでも安心して過ごして頂ける様に、オンライン面会や、ガラス越し面会の機会を活用し、交流する時間をご支援して来た。今後も報告、連絡、相談を心掛け、安心出来る施設生活のお手伝いをして行きたい。

#### (3) 委員会からの報告

##### <防災委員会>

- ・ 年間計画に沿って、定期的に防災教育や防災訓練、設備点検等を実施。自然災害マニュアル、BCPマニュアル等の整備も行った。
- ・ 災害についての教育も実施したが、委員以外でもしっかりと対応できるように体制を整えていく。  
また有事の際に使用する防災備品の点検も実施していく。

##### <身体拘束廃止>

- ・ 今年度の目標として前年度に引き続き「スピーチロックゼロ」を掲げたが目標達成には至っていない。研修やユニット会議、日常業務の中でもスピーチロックをなくす為にはどうしたら良いかを職員には発信してきた。  
スピーチロックゼロを達成するには、言い換えの活用、利用者の訴えや行動に対する寄り添いや話の傾聴、職員のアンガーマネジメント、利用者の個々のBPSDへの理解、業務改善などの多角的な取り組み

が必要である。来年度も引き続きスピーチロックゼロを目指し繰り返し発信していく。研修内容についてもスピーチロックを主とし内容を掘り下げ検討し次年度への課題としたい。

#### <虐待防止委員会>

- ・各職員のスキルアップを図る為に1年を3回に分けて目標を設定。
  - ① 利用者様の尊厳を守る為に正しい言葉遣いをおこなう。
  - ② 身だしなみ。整容清潔を整える。
  - ③ アンガーマネジメントを取り入れ実行。
  - 1 アンケートを実施し自身で振り返りを行ない、1カ月ごとに実施し翌月にはどう変わったのか、意識しているのかなど現状の変化反省を取り入れた。
  - 2 ネグレクトに繋がる部分。【綺麗にいて欲しい】という意識を高め自身の改革、変革に繋げた
  - 3 自身のコントロールを行ない内容や言い回し、イントネーション等が客観的に聞いても良い声掛け出来るようにスキルアップを目指した。
  - ・上記の目標を掲げたがまだまだ意識の部分で至らない点も多い。
- 来年度は上記の目標を基盤に、スタッフ同士利用者様とのコミュニケーションスキルを向上させサインや声をしっかりと聞き取る。若干名の不適切な態度、配慮や尊重に欠ける態度においては研修や日々の指導以外の部分でも管理体制の強化。定期的な報告制度の導入などで環境を整える必要があると感じる。職員一同が協力しあい良質な介護を提供するための環境づくりを進める。

#### <食事検討委員会>

- ・ 令和5年度は、「多職種連携による「個別の栄養管理」をより強化し、科学的根拠に基づいた食事・栄養管理を提供することで、ご利用者のQOLの維持・向上を図る」を目標とした。介護システムの導入により、情報を素早く収集でき、給食・栄養管理を検討する時間を多く持つことができた。検討する際には、各種ガイドラインや文献等を参考にして、可能な限り科学的根拠に基づき、給食・栄養管理を計画するようにした。令和6年度もご利用者のQOLの維持のために取り組みを行いたい。
- ・ 会議前に意見を収集することで、会議自体の議論を活発にすることができた。令和6年度も同様の方法で会議を行っていく。

#### <感染症対策委員会>

- ・ 感染症の研修会は、6月に「BCP 新型コロナウイルス感染初期対応訓練」を実施。その後レポートで学びを確認した。12月は、「感染症の基礎知識」の講義と基本的な嘔吐物処理方法について新人を中心に実地研修を行った。
- ・ 今年度は、前年度と同様に年間を通して、新型コロナウイルスの感染防止に向けた取り組みを行った。しかし2/2入所者に新型コロナウイルス感染が確認され、40名の集団感染に繋がった。多床室である当施設は予測していたが瞬く間に新館1階→新館2階→本館2階と拡がっていった。複数の陽性者が1週間以上経過してから飲食量が低下し、低酸素症になり救急搬送された。新型コロナウイルス感染症は高齢でなければ重い風邪であるが、高齢者にとって命に直結する感染症であると痛感した。今回の反省を生かし教育訓練を定期的に行い、蔓延防止に努めていく。

#### <介護事故防止委員会>

アクシデント発生件数は103件と前年度の109件と比べ6件減少している。ヒヤリハットの件数は、360件と前年度の252件から100件以上多く作成している。事故発生件数がさほど変わらずヒヤリが増えていく事は事故防止の意識が向上し、多くの事故を防げていると評価できる。また導入した見守りカメラ（ネオスケア）などのICTを活用し事故防止に努めている。ネオスケア導入場所での骨折事故はないがそれ以外での事故が多発していた。骨折については6件と前年度の1件から大幅に増加し



た。コロナ渦による人欠等も影響があった。欠員時の体制についてはBCPを参考にサービス提供し、次年度は安全確保に努めていきたい。併せて、今年度は誤薬が相次いでしまった。臨時の話し合いなども行ない、チェック体制をより強固なものに整えて実施している。次年度はこの対策を継続し、誤薬事故防止にも力を入れたい。

<褥創防止対策委員会>

- ・これまで同様に褥瘡発生を予防する取り組みを続けながら、ケアカルテを用いて、褥瘡マネジメント加算取得体制を構築した。令和4年度4月から3カ月をかけてご家族の承諾を得て加算開始し、2年間を通し継続できた。看護師、管理栄養士、PT、介護職員の記入が必要であり、他職種で考察できた。

「褥瘡に関するスクリーニング・ケア計画書」を厚労省に提出した。

- ・2/2 から新型コロナウイルス感染クラスターが発生し、レッドゾーン等居室で静養をせざるを得ずADLの低下から褥創発生した入所者が11名いた。同様にIAD(失禁関連性皮膚炎)の発生も9名と多く見られた。介護職員と連携しパット交換時の早期発見やケアを行い、パットが創部に当たらない様に使用してもらう事で創部の治癒が見られた。

<医療行為検討委員会>

- ・看護と介護の連携のもと、トラブルなく、安全に医療行為(経管栄養3名)や夜間の痰吸引の実施ができた。
- ・介護福祉士3名に「認定特定行為業務従事者」の現地研修を行った。認定特定行為業務従事者認定書を取得した
- ・看護師1名が指導看護師の研修に参加し、2名体制となった。

## 2、年間行事表

年 間		月 間	旬 間	週 間	日 課
R4.3月	花見会 花見浴	お誕生日会	歯科診察	深澤医師診察	機能訓練
5月	端午の節句 母の日	諏訪神社参拝	(木曜日)	(水曜日)	
6月	父の日 創立記念日	物故者供養			
7月	七夕祭り				
8月	納涼会	墓参り			
9月	敬老会・十五夜	床屋			
11月	豚汁会	出張日湯尾室			
12月	クリスマス会 もちつき	ひまわり会			
R5.1月	新年祝賀会	お好みメニュー			
2月	節分(中止)				
3月	ひな祭り				

### 3、職員研修状況

#### (1) 施設外研修

令和5年4月～令和6年3月

年月日	研修主催者	研修内容	参加人数	研修場所
R5.6.28 ～11.2	介護労働安定センター	認知所実践研修	2	オンライン
R5.6.19	認知症介護研究・研修仙台センター	認知症基礎研修	2	Eラーニング
R5.7.21 ～9.1	ハッピー&スマイルカレッジ	介護福祉士実習指導者講習会	1	オンライン
R5.9.1 ～12.1	全国老人福祉施設協議会	介護施設・事業者における虐待防止及び身体拘束の適正化について	3	オンデマンド動画配信
R5.9.6 ～12.5	介護労働安定センター	認知所実践リーダー研修	1	オンライン
R5.9.7	山梨県介護福祉士会	困難事例を解きほぐす研修	1	山梨県男女共同参画推進センター
R5.9.8	山梨県福祉サービス運営適正化委員会	クレーム対応の基本	1	甲府市総合市民会館
R5.9.12 ～9.14	全国老人福祉施設協議会	関東ブロック 老人福祉施設研究総会	1	Gメッセ群馬県高崎市岩押町 12・24
R5.12.8	介護福祉士会	高齢者権利擁護等事例報告検討会	1	山梨県男女共同参画推進センター
R5.12.25 ～R6.3.29	全国老人福祉施設協議会	自立支援総合研修	1	オンデマンド動画配信
R6.1.11	山梨県介護福祉士会	山梨県外国人介護人材研修会	1	山梨県立図書館
R6.1.27	山梨県介護福祉士会 災害対策委員会	災害対応基本研修	1	甲府市健康の杜アネシス

#### (2) 施設内研修

##### 初任者研修

月 日	内 容	担 当
4月3日(月)	法人事業・事業計画・就業規則・職業倫理・衛生教育	各担当責任者
10月2日(月)	防災教育・生活支援・事故防止・機能訓練・介護保険	
1月10日(水)	身体拘束廃止虐待防止・医療・感染対策・ターミナルケア 食事・介護・記録 等について	

##### 月次施設研修

月 日	内 容	担 当
4月28日(金)	事故防止について	事故防止委員会：野呂・布施
5月23日(火)	防災教育	防災委員会：齋城サブリーダー
6月26日(月)	感染症対応について	感染対策委員会：鷹野リーダー
7月28日(金)	虐待防止及び認知症ケアについて	虐待防止委員会：大森サブリーダー
8月28日(月)	身体拘束防止について一疑似体験を通じて一	身体拘束廃止委員会：布施
9月26日(火)	口腔衛生について	管理栄養士：望月
10月30日(月)	事故防止について	事故防止委員会：鮎川
12月18日(月)	感染症について	感染対策委員会：鷹野リーダー
12月25日(月)	ターミナルケアについて	介護：三枝
1月23日(火)	褥瘡防止について	褥瘡防止委員会：奥石
3月11日(月)	身体拘束防止	身体拘束廃止委員会：山本
3月29日(金)	虐待防止及び認知症ケアについて	虐待防止委員会：大森

#### 4、施設実習受け入れ状況

実習機関	実習内容	期間	実人数	延べ人数
帝京福祉専門学校 (介護福祉士養成)	施設実習	9/26～10/30 23日間	4人	92人
		11/14～11/21 6日間	3人	18人
計			7人	110人

#### 5、在宅サービス受け入れ状況

短期生活介護（ショートステイ）

年月	R5.									R5.			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
利用者数	14	13	11	14	15	13	13	12	12	14	9	14	135
延日数	180	184	213	238	246	218	180	176	216	233	130	245	2459

年間利用実員 35人

関連居宅支援事業所数 21 事業所（尚古園居宅含む）

甲府市 21 事業所

#### 6、ボランティア受け入れ状況

<グループ別月間集計>※ご来園

年 月 グループ名	R5									R6			計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
<自治会・女性部団体>													
大手東部女性部									1				1
峰本女性部						1							1
上積翠寺女性部								1					1
日影女性部							1						1
<サークル・ボランティア団体>													
<宗教団体等>													
<学校・保育園関係>													
<個人>													
<家族>													
<企業・法人・その他>													
合 計 (団体)						1	1	1	1				4
(人)						1	1	1	1				4

※ 雑巾、タオル寄贈の為来園

## 7、食事と栄養

### (1) 年間行事食献立

年 月 日	行 事 名	献 立 内 容
毎月 1 日	誕生日会	御赤飯（栗・甘納豆）、季節感のある副食
毎月 1 日	お好みメニュー	主食（御飯物、麺類等）の 2 種類からひとつ選択
3 月 30 日	お花見会	五目山菜ご飯、山菜の天ぷら、春野菜の煮物、桜漬け、和え物、玉子豆腐、茶そば汁、プリン、ゼリー、水ようかん、飲料類
5 月 5 日	端午の節句	いなり寿司、五目玉子焼き、菜の花の煮浸し、つみれ汁、マンゴー（おやつ）ととやき
6 月 24 日	法人創立記念日	栗の赤飯、鶏の照り焼き、野菜田楽、酢の物、かきたま汁、オレンジ（おやつ）お茶饅頭
7 月 7 日	七夕	七夕そうめん、かき揚げ、枝豆、茄子田楽、メロン
7 月 30 日	土用丑の日	うな井、冬瓜のかにあんかけ、なすの和え物、すまし汁、みかん缶
8 月 12 日	夏祭り	焼きそば、おでん、焼鶏、たこ焼き、フライドポテト、チョコバナナ、ソフトドリンク、綿菓子、かき氷
9 月 18 日	敬老の日	栗の赤飯、天ぷら、ひじきの煮物、ほうれん草のわさび和え、味噌汁、マンゴー（おやつ）ねりきり
9 月 23 日	秋分の日	おはぎ 3 種、たらの塩麴焼き、ずんだ和え、豚汁、梨
9 月 29 日 10 月 27 日	十五夜・十三夜	十五夜：（おやつ）月見ゼリー 十三夜：（おやつ）月見まんじゅう
12 月 19 日	餅つき	（おやつ）粒あん・きなこ・黒胡麻餅
12 月 25 日	クリスマス	チキンライス、ポトフ風スープ、サラダ、マンゴー（おやつ）ケーキバイキング
R5 年 1 月 1 日	新年祝賀会	雑煮、おせち盛り合せ、お屠蘇、みかん
1 月 7 日	七草	七草粥、鶏豆腐焼き、味噌田楽、春菊のわさび和え、とろろ昆布汁、みかん缶
2 月 3 日	節分	中巻寿司、金平ごぼう、浅漬け、とろろ昆布汁、キウイフルーツ（おやつ）甘酒、切山椒
3 月 2 日	桃の節句	ちらし寿司、花形豆腐ハンバーグ、菜の花の辛子和え、すまし汁、いちご（おやつ）三色花ゼリー
3 月 20 日	春分の日	おはぎ 3 種、さつま揚げの煮物、ほうれん草の梅かつお和え、すまし汁、いちご

(2) 栄養ケア・マネジメントによる栄養リスク判定

月	人数	リスク判定別人数		
		低リスク	中リスク	高リスク
5年4月	84	21	48	15
5月	83	20	44	19
6月	82	16	51	15
7月	83	15	54	14
8月	81	11	57	13
9月	82	13	51	18
10月	81	13	50	18
11月	85	17	47	21
12月	82	19	48	15
6年1月	81	21	44	16
2月	82	19	48	15
3月	74	17	42	15
平均	81.7	16.8	48.7	16.2
全体割合	100	20.6	59.6	19.8

(3) 食事内容・食形態別数

	一般食	腎臓食	糖尿病食	胃潰瘍食	肝臓食	膵臓食	脂質異常症食	貧血食	経管栄養	合計
常菜	8	6	1	0	0	0	0	0	0	15
キザミ	10	9	0	0	0	0	1	0	0	20
超キザミ	9	2	2	1	0	0	0	0	0	14
ミキサー	17	0	0	0	0	0	0	0	0	17
経管栄養	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
合計	44	17	3	1	0	0	1	0	4	70

令和6年3月31日夕食現在

## 8、ひまわり会（利用者の会）活動状況

※毎回、園からの情報提供、ご利用者からの要望、利用者間の話し合いを行なう。

日時	参加人数	活動内容
11月27日 15:00~15:30	12名	・新入園者、新入職員の紹介 ・107歳を迎えた利用者様挨拶 ・感染症について ・食事について ・ご利用者からの要望等 ・体操 ・カラオケ
1月26日 15:00~16:00	10名	・新入園者、新入職員の紹介 ・感染症について ・2月以降の行事について ・ご利用者からの要望等 ・体操

## 9、ご家族との連携

### (1) ご家族への案内

	内 容	
毎月	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 諸経費・小遣等領収書の発送</li> <li>* 介護保険等の情報提供</li> <li>* 行事等でのご利用者のお写真を「ひとこま」としてお知らせ</li> <li>* 利用料請求</li> <li>* 当月及び翌月の予定のお知らせ</li> </ul>	
該当月	4月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス対策についてのご協力についての御礼</li> <li>・花見会・花見浴ご報告</li> <li>・尚古園だより (第80号)</li> </ul>
	5月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りカメラの設置について</li> <li>・新型コロナワクチン予防接種について</li> <li>・環境整備について</li> <li>・衣替えについて</li> </ul>
	6月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険各種認定証・確認証の更新時期となりました</li> <li>・衣替えについて</li> <li>・衣類には必ず記名をお願いします</li> <li>・ご面会について ・令和5年夏祭りについて</li> </ul>
	7月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険各種認定証の更新手続きはお済みですか</li> <li>・夏祭りの開催について ・衣替えについて</li> </ul>
	8月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険各種確認証の結果について</li> <li>・夏祭りの開催について</li> <li>・給食費の改定について</li> </ul>
	9月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種減免の認定申請をありがとうございました</li> <li>・給食費の改定について</li> <li>・長寿祝賀会を開催いたしました</li> </ul>
	10月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザ予防接種について</li> <li>・衣替えの季節となりました</li> <li>・敷地内通行止めについて</li> </ul>
	11月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面会方法についてのお願い</li> <li>・インフルエンザ予防接種について</li> <li>・新型コロナワクチン7回目摂取について</li> <li>・環境整備について</li> <li>・17:30～翌8:30までは留守番電話に切り替わります</li> </ul>
	12月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年も一年、ご協力頂きましてありがとうございました</li> <li>・面会についてのお知らせ ・差し入れ品に関するお願い</li> <li>・17:30～翌8:30までは留守番電話に切り替わります</li> </ul>
	1月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年もよろしくお願い致します ・面会について</li> <li>・17:30～翌8:30までは留守番電話に切り替わります</li> </ul>
	2月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの発生状況について</li> </ul>
	3月 …	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症クラスター終息のご報告</li> <li>・療養食加算について ・お花見会について</li> <li>・高額介護合算療養費の申請について</li> <li>・17:30以降の留守番電話の対応について</li> </ul>

### (2) ご家族との共同活動

今年度も新型コロナウイルス感染症対策の為、6月、12月の大掃除は中止し、職員のみで6月、11月に実施。

## 10、利用者の状況

### (1) 年齢・性別

令和6年3月31日現在

年齢 性別	50	60	65	70	75	80	85	90	95	100	計	最高 年齢	最低 年齢	平均 年齢
	～ 59	～ 64	～ 69	～ 74	～ 79	～ 84	～ 89	～ 94	～ 99	以 上				
男	0	0	0	1	2	3	2	4	3	0	15	98	72	87
女	1	0	0	0	5	11	10	19	11	0	57	99	57	88
計	1	0	0	1	7	14	12	23	14	0	72			88

### (2) 在園期間

令和年6月31日現在

期間 性別	1年 未満	1年 以上 ～ 3年 未満	3年 以上 ～ 5年 未満	5年 以上 ～ 10年 未満	10年 以上 ～ 15年 未満	15年 以上 ～ 20年 未満	20年 以上	計	1人当り 平均 在園 期間
	男	5	5	3	2	0	0		
女	18	23	6	6	3	1	0	57	2年 11ヶ月
計	23	28	9	8	3	1	0	72	2年 10ヶ月

(3) 退園理由

令和5年度退園者

区分 性別	死亡			長期入院 見込み	ご家族 の 希望	その他	計
	施設	病院	家庭				
男	3	7	0	1	0	0	11
女	18	5	0	4	0	4	31
計	21	12	0	5	0	0	42

(4) 入園前居所

令和5年度入園者

区分 性別	在宅	病院	養護老人 ホーム	特別養護 老人ホーム	老人保健 施設	グループ ホーム	ケア ハウス	短期入所 施設	計
男	0	2	0	0	0	0	0	6	8
女	3	4	0	0	1	0	0	15	23
計	3	6	0	0	1	0	0	21	31

令和6年3月31日現在

区分 性別	在宅	特別養 護老人 ホーム	ショー ト 専門棟	病院				老人 保健 施設	グループ ホーム	ケアハ ウス	その 他	計
				一般	療養型	リハ ビリ	精神 科					
男	7	0	6	1	0	0	0	1	0	0	0	15
女	25	0	19	3	0	1	2	7	0	0	0	57
計	32	0	25	4	0	1	2	8	0	0	0	72

(5) 介護度別人数の変化

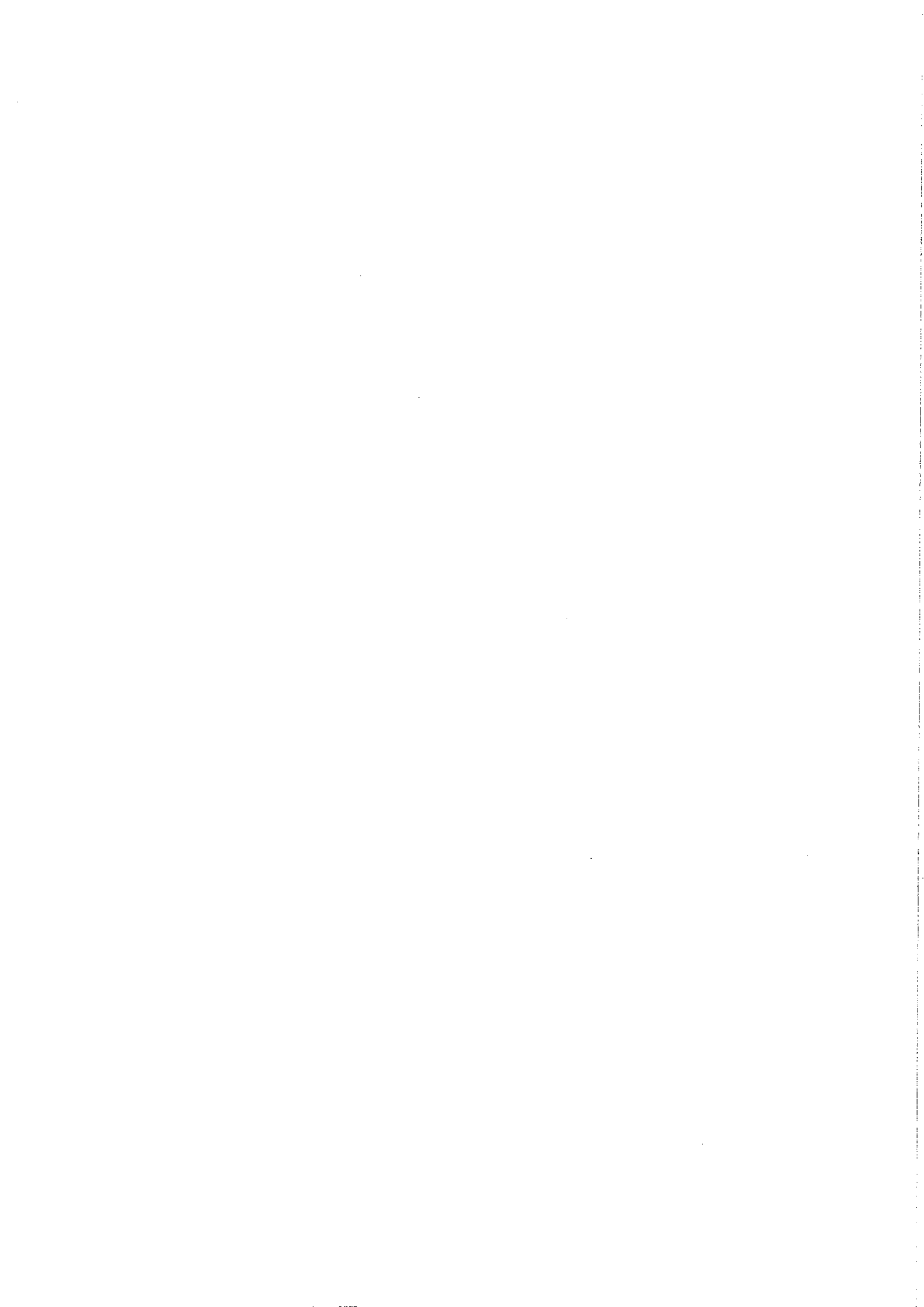
入園者

介護度	R5. 3. 31 現在	R6. 3. 31 現在
1	0	0
2	2	1
3	36	32
4	30	26
5	16	13
合計	84	72
平均介護度	3.71	3.71



# サテライト特養尚古園





# 1、利用者生活支援状況（報告）

## (1) 支援方針総括

今年度は昨年に引き続きコロナウイルス感染症対策を重視した生活支援を続けてきて、職員の罹患者はあったが、クラスターの発生及びご利用者の感染者はなかった。

12月にご利用者2名の方が転倒による骨折から、手術のため入院となり、リハビリのための入院を含めると約3か月空床になってしまった。

ご利用者の超高齢化、重度化が年々進み、施設は生活支援から「基本的な身体ケア」に重きを置くことが多くなっている。

今年度も数名の方を施設で看取りを行ったが、「施設での看取り」は、介護職員だけでなく看護師、管理栄養士、生活相談員、施設ケアマネといった多職種がチームとなって、日々のケアをしっかりと行ってきたことの現れだと評価している。

サテライト尚古園は地域密着型施設という特性により、本来であれば家族やボランティア、学生など多くの人が自由に入出入りしてもらい、「社会の風」を「施設」に運んでくださっていただいていたが、コロナ等の感染症対策のため、そのような機会は減ったが、これからも開かれた施設としてのあり方を模索してゆきたいと思う。

## (2) 各部署からの報告

### <介護>

サテライト特養尚古園では、令和5年度の重点目標を「地域密着型施設として、ユニットケアの推進と、それに基づく良質な個別ケアの提供。」とし実施してきた。

- ・ 各入居者の「暮らし」を正しく認識し、その方に寄り添い、その方の暮らしを支える介護の実践。
- ・ ユニットケアの概念を各職員が正しく理解し、その考えに基づいた個別性を重視したケアの提供
- ・ 多様な生活に対応できる介護を提供する為、職員のスキルアップができるよう研修を重ねる。

常に個別ケアを意識した対応が重要であることを念頭に入れた対応を行い、日頃の身体介護に加え、静養や居室等の環境整備についても意識を高く持つように指導してきた。

新型コロナウイルス感染症の対策については、昨年度に引き続き、居室でのご家族の面会は看取り期を除き、基本的には中止としドア越し面会としている。昨年度のクラスター発生の反省から、より感染対策への意識を高く持ち、職員個々での罹患者発生はあったものの、他職員や利用者への感染はなく経過することが出来た。

研修については、外部研修への参加は行えなかったが、内部研修の実施は予定通り行うことができた。

地域密着型介護施設としての姿をより意識し、具現化できるように、今後も引き続き取り組んでいきたい。

### <看護>

- ・ 利用者様の変化に素早く対応できるようにバイタルサインだけの数値で評価判断しないよう日頃から食事・排泄・入浴などの生活援助に積極的に参加介護士との情報共有や情報交換に努めた。また異常に気が付いた時点でその症状の専門分野に外診して頂くよう他部署と相談し適切な治療を提供することでそれ以上の悪化がないように組織全体で取り組んだ。「看取り」に関してもケアマネ・相談員を通じギリギリのラインまで家族との意向を確認し希望に沿うことでトラブルに発展するケースもなかった。

#### <管理栄養士>

栄養カンファレンスを通して、多職種間での情報を踏まえ、食事内容の検討を行い栄養状態の改善・維持に努めた。

加算対象の療養食も継続しながら、歳時記に合わせた食事や行事・イベント食の提供を行い、好評を得ている。今後も継続していく。

献立作成を委託会社本社に依頼。月1回献立検討会を設定し、委託会社本社栄養士と施設栄養士で管理していく仕組みを作り継続している。

#### <介護支援専門員>

施設としての感染対策を行う中で、面会や電話連絡を通してご家族との信頼関係を構築しつつご利用者、ご家族の意向に沿い、個別性と自立支援を重視したサービス計画の作成に努めてきた。

サービス担当者会議においては担当制を活かして参加できる機会を増やし、ご利用者の状態の報告や意向を汲み取る中で支援方針を決め、多職種で情報共有しながら多様なニーズに対しても柔軟に対応している。

今年度は施設でのお看取りを希望される方、延命を望まれた方に対してもどのような支援が一番ご本人にとって良いのか、ご本人とご家族の気持ちを汲みながら各専門職種がチームとなり話し合いや丁寧なケアの提供が行えた1年であった。

日々の生活でも細やかな個別ケアに繋がられ、個々の課題について今後もその都度話し合い迅速に対応し、専門職がチームとなってケアが展開できるように努めていく。

#### <生活相談員>

今年度も引き続き、感染症対策により行事や面会の制限をさせていただくことが続いた。昨年1月から居室での面会を解禁していたが、世間で再びコロナの感染者数が急増したことから、今年8月よりやむを得ずドア越し面会に戻すこととなった。今年度ご入居されたご家族からは残念がられる声が聞かれており、お互いに寂しさが募らないように、面会時のサポートや近況を細かくお伝えし、行事の写真をお見せするなど対応をしている。また、12月からは、かねてよりご家族からご要望を頂いていたオンライン面会を導入し、特に県外にお住まいのご家族から好評を頂いている。

今年度の一番の課題であった待機者の確保については、持病や金銭面、男性待機者の増加等の理由により待機者が少ない状況は変わらず続いており、引き続き来年度の課題となってしまった。

そんな中でも、法人の在宅統括の協力もあり、退園後のスムーズな入居に繋げることができ、今年度は精神的ケアが必要な方を数名受け入れている。待機者も身体的なケアよりも精神的なケアが必要とされる方が増加しており、ケアの転換期であるとも言える。

また、今年度は蜂窩織炎や骨折等により長期に渡る入院者が発生してしまい、目標の稼働率を達成することが出来なかった。居宅ケアマネージャーからの問い合わせもロングショートのニーズが多く、空所型を利用した短期間でのショート利用へ繋げることは困難であった。来年度は、待機者の確保と入院に繋がらないよう細やかなケア提供に努め、目標稼働率達成に努めていく。

### (3) 各委員会・係からの報告

#### <防災委員会>

職員の防災意識向上に努めるべく緊急避難行動を想定した訓練を実施し、多くの職員が積極的に訓練等に参加し防災意識向上を図れた。例年の震災からの火災訓練に加え、水害訓練の実施を取り入れた。あらゆる災害は、いつ発生するかわからない状況の為、訓練や日頃の心構えが重要である。万が一の事態に備え、今後も継続して活動を行ってきたい。

#### <食事検討委員会>

ご利用者からの要望や意見などを話し合い、出来る限り希望に沿った食事提供ができるよう努力した。給食業者や施設スタッフとの連携により、行事・イベント食の提供ができた。食べる楽しみの時間や自己選択できる機会のひとつとして、お好み食の提供を継続する。

衛生管理の徹底や、ご利用者の身体、疾病状況に合わせた食事の提供をおこなう為、多職種間での情報交換は必須。継続していく。

#### <介護事故防止委員会>

アクシデント・ヒヤリハットレポートが作成された際は、即座にスタッフミーティングにて分析を行ない、事故傾向、事故原因の追究から対策を講じ、各職員に事故再発の啓発を行なった。事故防止委員会を3ヶ月おきに開催し、該当月に発生した事故の再分析、事故防止対策の徹底を行った。事故防止の研修会を年度中に2回実施し、事故防止の為の教育活動を行ってきた。

今年度、夜間帯に転倒し骨折する案件が2件発生、長期入院に至ってしまった。夜間帯、職員1人体制であり、利用者様の安全に配慮した対応が求められている。建物の構造、認知症状の重度化に伴い、事故の発生を完全に抑止する事は困難であるとしても、基本的な生活支援（正しいトランスファーなど）を正しく認識し実践しながら、各職員に対する安全啓発活動・教育活動を推進・強化していきたい。

#### <身体拘束廃止委員会>

ご利用者の重度化に伴い、認知症状も中重度の方が増加している。これによって危険に対する認知不足から、転倒などの事故リスクが非常に高くなっている。

そのため安全を重視することが、行動抑制につながりやすい環境になってしまい、生活支援の基本である安全、安心できる環境を求めつつ、グレーゾーンと呼ばれる領域（身体拘束の一手手前/スピーチロック等）を各職員がきちんと認識して生活支援につなげるかがこれからも課題となる。

#### <感染症対策委員会>

前年度のクラスター発生の反省から、職員個々のコロナ感染はあったものの、他職員や利用者への感染はなく、施設内での蔓延は防ぐことが出来た。コロナウイルスについては、5類に引き下げられたものの、未だ罹患のリスクは高い状況であり、感染対策としては今まで同様の対応を継続して行う事としている。今後も施設内への感染症の持ち込みを防ぐことを最優先として活動を行っていきたい。

#### (4) ご家族・地域との交流

4年連続して年に2回開催していた環境整備は、感染症対策に伴い職員のみで行い本来の目的である家族交流が行えなかった。例年、ご家族や学生ボランティアを招待し、デイサービス合同で賑やかに開催する夏まつりも、4年連続特養のみの開催となった。

運営推進会議は、原則対面開催の指示が市よりあり、感染対策を講じながら3年ぶりに全6回を対面にて開催した。ご家族にもご参加頂き、対面にて開催することで多様な意見を頂き有意義な会議となった。

地域の行事では、今年も七夕まつりや信玄公まつりへ出かけ、騎馬隊の方々との写真撮影を行い交流を図ることができた。しかし、今年は昨年以上の観客の多さと賑やかさとなり、感染症対策の観点から地域行事への積極的な参加は難しい部分もあった。

来年度も感染状況に応じながら、ご家族、地域との交流を増やして行きたい。

## 2、年間行事

	年 間	月 間	週 間	随 時
R4. 4月	花見外出 サライト開設記念日	お誕生日会	内藤 Dr. 回診	歯科往診
5月	端午の節句 母の日（食事イベント） *目前で天ぷらを揚げて 召し上がっていただく	お好みメニュー	余暇の日 （日曜日）	防災訓練
6月	父の日	美容院の日	居室内整備	サービス担当者会議
7月	七夕・土用の丑の日	買い物の日		レクリエーション
8月	納涼会	甲府市介護相談員 訪問		外出・散歩
9月	十五夜・敬老会			
10月	十三夜・紅葉狩り			
11月	お楽しみランチ *目前でお寿司を握って 召し上がっていただく			
12月	クリスマス会			
R5. 1月	新年祝賀会 七草			
2月	節分			
3月	ひな祭り			

## 3、職員研修状況

### (1) 施設外研修

\*令和5年度も昨年同様、新型コロナウイルス感染症予防により、施設外研修の参加は見合わせた。

### (2) 施設内研修

期 間	内 容	発表・講師等
R5.5	職業倫理・個人情報・プライバシー保護・権利擁護	サブリーダー
R5.6	防災対策	防災担当
R5.7	衛生管理・食中毒予防	感染症対策委員会
R5.8	認知症ケア	統括リーダー
R5.9	防災教育	防災担当
R5.10	事故防止Ⅰ	事故防止委員会
R5.11	感染症・ノロウイルス対策について	感染症対策委員会
R5.12	ターミナルケアと褥瘡の予防	介護福祉士
R6.1	身体拘束・虐待防止について	身体拘束解消委員会
R6.2	事故防止Ⅱ	事故防止委員会

#### 4、実習生受け入れ状況

実習内容	期間	学校名
介護現場実習 1名 (2年生)	R5. 8. 22～ R5. 9. 25	大原学園

#### 5、利用者の状況

##### (1)年齢・性別

令和5年4月1日

性別 \ 年齢	60	70	75	80	85	90	95	100	計	最高年齢	最低年齢	平均年齢
	70	74	79	84	89	94	99	以上				
男	0	0	1	0	0	1	0	0	2	91	78	84.5
女	0	0	1	1	4	8	1	1	16	103	78	96.7
計	0	0	2	1	4	9	0	2	18			95.3

令和6年3月31日

性別 \ 年齢	60	70	75	80	85	90	95	100	計	最高年齢	最低年齢	平均年齢
	70	74	79	84	89	94	99	以上				
男	0	0	2	0	1	1	0	0	4	92	76	83.8
女	0	1	1	0	0	9	4	1	16	103	74	92.1
計	0	1	3	0	1	10	4	1	20			90.4

##### (2)在所期間 (令和6年3月31日現在)

\*平均在園年数 2年7ヶ月

男性:2年9ヶ月 女性:2年6ヶ月

##### (3)入退所状況

\*令和5年度 退所者7名 入所者8名

\*令和6年3月31日現在 入所者数 20名

病院で死亡	3	施設で死亡(看取り介護)	4
-------	---	--------------	---

##### (4)入所前居所

令和5年度入所者合計8名

在宅	2	グループホーム	1
(短期入所生活介護専門施設)	2	老人保健施設	0
(小規模多機能型施設)	0	養護老人ホーム	0
サービス付き高齢者住宅	0	病院(リハビリ系含む)	3

## (5) 入退院状況

No	性別	要介護度	入院先	病名	備考
1	女	3	山梨病院	蜂窩織炎	施設に帰園
2	女	3	山梨病院	腸閉塞	入院から療養型へ転院
3	女	3	城南病院	心不全	入院から帰園されたが、再発され再入院となり療養型へ転院
4	女	3	山角病院	アルツハイマー型認知症	症状の悪化の為。入院から療養型へ転院
5	女	3	甲府共立病院	右大腿骨頸部骨折	リハビリ病院へ転院され帰園
6	女	3	甲府共立病院	右大腿骨転子部骨折	リハビリ病院へ転院され帰園

## (6) 介護度別人数の変化

介護度	R5.4.1現在	R6.3.31
要介護1	0	0
要介護2	0	0
要介護3	10	10
要介護4	5	7
要介護5	4	3
合計	19	20
平均介護度	3.68	3.65

## (7) 栄養ケア・マネジメントによる栄養リスク判定

月	人数	リスク判定別人数		
		低リスク	中リスク	高リスク
R5年4月	19	4	11	4
5月	20	2	13	5
6月	20	2	14	4
7月	20	2	14	4
8月	20	4	11	5
9月	20	5	11	4
10月	18	6	9	3
11月	19	7	9	3
12月	19	6	10	3
R6年1月	20	5	10	5
2月	20	5	11	4
3月	20	5	9	6
平均	19.6	4.4	11	4.2



## 6、運営推進会議の開催

指定地域密着型サービス事業者として定期的に「サテライト特養尚古園運営推進会議」を開催。  
なお、今年度も感染症の状況によって、感染対策を講じて短時間で開催した。

運営推進委員：ご利用者代表、ご家族代表、地域包括支援センター、民生委員、地域代表、学識経験者  
施設参加：施設長、ユニットリーダー、生活相談員、ケアマネージャー、管理栄養士等

### 第一回 運営推進会議（令和5年5月29日 14:00～）

1. 今年度の推進委員の紹介
2. ご利用者の状況（概況）
3. 感染症対策報告～感染症対策の状況等
4. 活動状況報告
5. 事故防止委員会より
6. 苦情要望窓口より
7. その他～アンケート集計結果、職員紹介について

### 第二回 運営推進会議（令和5年7月31日 14:00～）

1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告～感染症対策の状況等
3. 活動状況報告
4. 事故防止委員会より
5. 苦情要望窓口より

### 第三回 運営推進会議（令和5年9月25日 14:00～）

1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告～感染症対策の状況等
3. 事故防止委員会より
4. 活動状況報告～夏祭りの様子
5. 苦情要望窓口より

### 第四回 運営推進会議（令和5年11月27日 14:00～）

1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告～感染症対策の状況等、インフルエンザワクチン接種について
3. 事故防止委員会より
4. 活動状況報告
5. 苦情要望窓口より

### 第五回 運営推進会議（令和6年1月29日 14:00～）

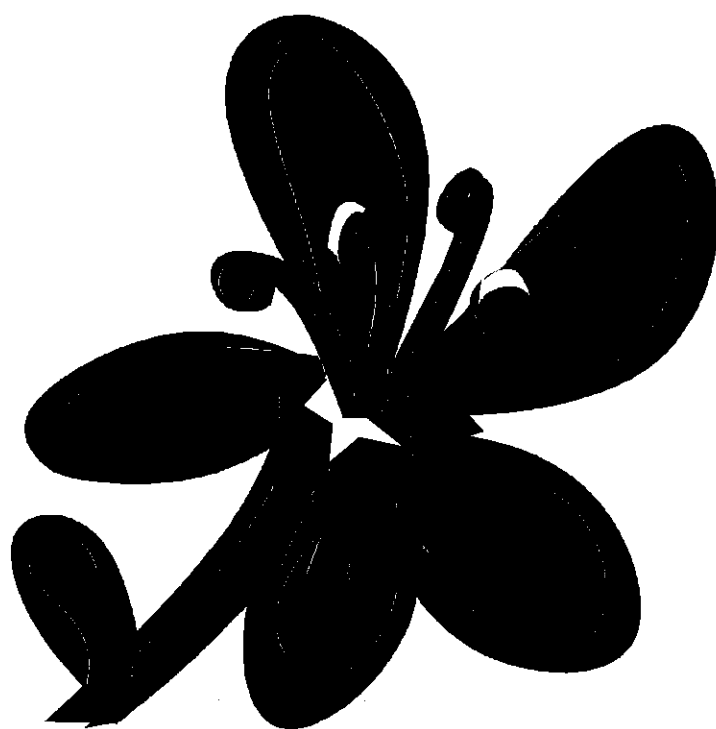
1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告～感染症対策の状況等
3. 事故防止委員会より
4. 活動状況報告
5. 苦情要望窓口より

### 第六回 運営推進会議（令和6年3月25日 14:00～）

1. 管理者変更に伴う挨拶
2. ご利用者の状況
3. 感染症対策報告～感染症対策の状況等
4. 事故防止委員会より
5. 活動状況報告
6. 苦情要望窓口より



# 尚古園デイサービスセンター





# 1、利用者生活支援状況（報告）

## （1）総括

令和5年度は、前年度のコロナクラスター発生の教訓を生かし、感染症標準予防策や衛生管理を徹底した結果、ご利用者、職員各々が罹患することはあったが、感染が拡大することなく安定した事業所運営を行うことが出来た。また、当法人在宅サービス統括管理の下、地域ほうかつ支援センターや居宅介護支援事業所等との関係構築の強化に努めた。その結果、新規ご利用者18名様を受け入れるに至った。引き続き、関係諸機関と密に連携し、ご利用者・ご家族のニーズを的確に把握するよう心掛け、一人ひとりに合った支援を目指していきたい。

## （2）利用者生活支援

### ① 入浴サービス（一般浴・リフト浴・機械浴・展望浴）

ご利用者一人一人の健康状態を把握しつつ、身体状態に合わせた介助の方法や設備を活かした入浴サービスを提供している。入浴中は十分な見守りのもと、安全に安心して入浴をしていただけるような配慮をし、全身状態の把握や清潔の保持に加え、生活リハの観点から残存機能を活かした一連の動作に係る介助を行った。また、ご利用者の身体状態に合わせた入浴設備（リフト浴・機械浴）を使用し、ご利用者の心身状態の維持と在宅介護の負担軽減を図った。

「ゆっくり温まり、くつろげるお風呂」を目指し、浴室の壁面にご利用者創作の壁画を3か月毎に装飾したり、ラジウム鉱石や入浴剤を入れた変わり風呂、また展望浴での花見浴を提供したりして、入浴意欲への働きかけと雰囲気作りに努めた。

### ② 給食サービス

管理栄養士の献立のもとバラエティーに富んだメニューと、高齢者向けの味付けが大変好評である。ご飯と汁物はデイのキッチンで盛り付けのパフォーマンスを行ない、食器は陶器を使用している。新メニューの提供時など都度ご利用者から意見を頂き、メニューに反映出来るようにした。ご利用者の状態に合わせ、形態・自助具・療養食の提案を行った。また食事の見守りを図り、食事介助が必要なご利用者への適切な援助と共に、食の楽しみを感じられるようにした。食前の嚥下体操の実施は目的と効果を説明しつつ、アレンジを重ねながら自宅での活動に繋がるようご利用者へ働きかけを継続している。また映像機器を使用したバラエティーに富んだ口腔体操を提供し、楽しみながら参加頂けるようにした。

毎月1回開催の手作りおやつレクは担当スタッフが工夫を凝らし、季節を感じられる内容や楽しみを感じられる作業を通し、「自分達で作る」楽しさを提供することができた。クオリティの追究をしながら懐かしさや美味しさを感じられるよう工夫した。また、毎月2回の味噌汁レクでも残存機能の保持や「まだまだ出来る」と参加者が自信を持てる機会となり有用感を創出することが出来た。

### ③ 介護サービス

「在宅生活の継続」をベースに置き、ご利用者の心身の状態・生活の状況に応じたニーズを適切に把握するように努め、一人一人に合った介護サービスを提供すると同時にQOL向上を意識したケアに努めた。また、必要に応じてご家族やケアマネジャーに情報共有を行い、ケア方法や福祉用具の提案を行った。

### ④ 日常動作訓練

送迎から始まり、デイサービスセンター内でのご利用者の動作全てを生活上のリハビリと捉え、移動・食事・入浴・排泄等の行為の際も、過介護にならないようご利用者の残存能力を引き出せるア

アプローチを心掛け、自立の重要性、生活意欲の向上に繋がるようなサポートを行った。また、集団体操のほか個々のニーズに合わせ、マッサージ器、フットマッサージャー、滑車機器、エアロバイク、ウォーキングマシーンを使用した個別場面を設け、運動機能向上へのサポートを行った。

⑤ 健康状態の確認

来所時のバイタルチェックや問診、内服薬の情報を得たり、月1回の体重測定の実施を通じて、看護職員を中心にご利用者の健康管理を行った。また必要に応じて各サービスと共通の「連絡ノート」を作り、デイ利用場面のみならずその方の総合的な健康状態の把握に努めた。また、状態変化があった際には、ご家族や担当のケアマネジャー、訪問看護ステーション等関係機関と情報共有を行い、受診に繋げるなど、迅速な連携を図ることができた。また、新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策として、ご利用者と職員を対象に、コロナ抗原検査を適宜実施し早期のコロナ罹患者発見に努めた。

⑥ 送迎サービス

送迎ルート、自宅周辺の土地環境を把握しながら、常に安全運転を心がけ、ご利用者の身体状態や特性に合わせた車両選定を行ったり、身体状態により職員2名で対応する等、快適・安心に通所していただける送迎サービスを実施した。車両の点検・整備は月1回実施。また車内・車外の清潔に努め、ひざ掛けやうちわなど設置し、寒暖差への配慮を行ったほか、コロナ禍の感染症対策の一環として車内の消毒清拭や車内の換気（小型空気清浄機設置）を通年対応とした。送迎はご利用者・ご家族との直接コミュニケーションを図れる場面でもあり、情報の共有や生活のアドバイス等を行うことで共通理解を持つことができた。

⑦ レクリエーション・余暇活動

日々のレクリエーションは、ご利用者のADLや交流や活動による社会性の向上、生活の活性化を目指し、創意工夫した企画と展開を行った。

行事は、季節の移り変わりを感じられるよう工夫しながら感染対策を講じつつ計画的に実施、個々のニーズの合わせた取り組みを行うことができた。

余暇活動として、玄関フロア内に飾る装飾物などをご利用者と共同で創作した。心身や認知機能の活性化が図れ、参加者の有用感にも繋げることが出来た。

⑧ 生活相談・援助

ご利用者の生活状況を把握しつつ信頼関係の構築につとめ、相談しやすい雰囲気創出を心がけた。ご利用者からの相談は真摯に対応し心の安寧を得て頂ける様に努めた。また、内容によっては、その方を取り巻く人的環境を1つの家族システムと捉え、必要時には関係機関と家族についての情報共有も行いつつ解決に向けて連携を行った。毎月、介護支援専門員に発信する「利用状況報告書」により、間接的にご利用者のリアルニーズを伝えた。

⑨ その他日常生活全般にわたる介護

独居やご家族留守宅への送迎などご利用者の生活状況に合わせ、ご家族やケアマネジャーからの依頼で、送迎時の戸締り、電気、火の元の確認などを行った。また、ご家族の支援なく衣類の清潔保持を保てない方については衣類を洗濯してお返りする等可能な限り日常生活のサポートを実施した。

## 2、会議開催状況

会議名	開催時期	内容
スタッフ会議	毎月1回	・行事確認 ・利用者の変動、利用状況
ケースアセスメント会議	随時	・利用者情報及びケア内容の共有 ・アセスメントシート作成
サービス担当者会議	随 時	・数回実施（状態変化等）
業務運営委員会	毎月1回	・業務改善事項の検討 ・サービス向上の検討
食事検討委員会	年4回	・嗜好状況の報告、検討 ・行事食等の検討

## 3、職員研修状況

### (1) 事業所外研修

期間	主催	参加	研修名	場所
R5. 10. 4～ 12. 13	甲府市健康政策課	1	多職種連携の為の基礎講座	総合市民会館 3F大会議室
R5. 6. 20～ 11. 2	介護労働安定センター	1	認知症介護実践者研修	オンライン
R5. 7. 4	山梨県老人福祉施設協議会	1	実効性のあるBCPセミナー	小瀬スポーツ
R5. 9. 6～ 12. 5	介護労働安定センター	1	認知症介護実践者研修（実践 リーダー研修）	オンライン

### (2) 事業所内研修

実施日	研修内容	担当・講師等
R5. 4. 22	【個人情報取り扱い・プライバシー保護・衛生管理・職業倫理・接遇・マナー】 【権利擁護研修】	小川統括・所長
R5. 7. 18	食中毒の基礎知識	看護職員・サブリーダー
R5. 8. 24	防災教育	所長
R5. 11. 9	冬季感染症（インフル・コロナ）ノロウイルス対応	看護職員
R5. 11. 20	デイサービスにおける 事故防止・事故発生時における取り組み	介護職員
R5. 12. 18	身体拘束・高齢者虐待防止研修	介護職員
R6. 1. 22	認知症ケア	介護職員・所長
R6. 2. 19	デイサービスにおけるターミナルケア	介護職員・サブリーダー

#### 4、ボランティア受け入れ状況

\*6月12日 フルート・ピアノ デュオ「リアン」 2名様

\*7月13日 ハーモニカ「虹色倶楽部」 5名様

#### 5、利用者の状況

##### (1) 行事状況

実施月	行事	実施日	手作りおやつ	実施日
R5年 4月	花見会	3月30～31日	手作り八つ橋	4月19日 4月20日
5月	端午の節句	5月5日	五平餅	5月19日 5月20日
6月	喫茶レク	6月12日	リンゴのミルクレープ	6月20日 6月21日
7月	七夕	7月7日	パイナップルケーキ 青じそジュース	7月19日 7月20日
8月	スイカ割り 夏祭り	8月3日 8月21日	たこやき2種	8月18日 8月19日
9月	敬老会	9月18日	さつまいもの蒸しパン ケーキ	9月25日 9月26日
10月	運動会	10月9日	かぼちゃあんドーナツ	10月18日 10月19日
11月	紅葉行事	11月12日・15日・ 16日	スイートポテト	11月17日 11月18日
12月	クリスマス会	12月23日	クリスマスケーキ	12月18日 12月19日
R6年 1月	新年祝賀会	1月4日～5日	梅ヶ枝餅	1月17日 1月18日
2月	節分	2月3日	カスタードワッフル	2月16日 2月17日
3月	桃の節句	3月2日	緑茶蒸しパン	3月20日 3月21日

※レクリエーション（みそ汁作り、共同制作等）～月替わりで実施。

※誕生日会～当月利用日が近い日に実施。※手作りカレンダー～毎月実施。

※体重測定～月の前半に実施。※防災訓練～年2回実施。※展望浴～随時実施。

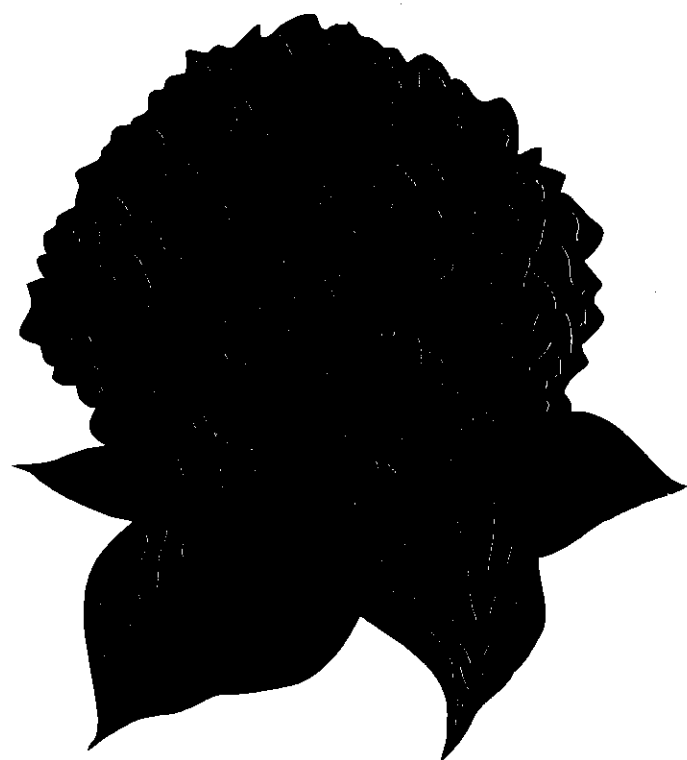


(2) 要介護度別利用状況

年月日	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	合 計	平均要 介護度
R4.4月	8	30	58	105	130	65	74	0	470	2.8
5月	7	30	52	104	139	59	80	3	474	2.8
6月	10	30	75	109	119	56	80	3	482	2.7
7月	8	24	98	93	109	62	79	3	476	2.7
8月	10	21	98	80	107	60	82	0	458	2.7
9月	4	21	74	89	115	62	77	0	442	2.8
10月	4	38	71	91	106	66	82	3	461	2.8
11月	2	24	59	71	81	55	54	2	348	2.7
12月	4	32	61	88	92	36	44	0	357	2.5
R5.1月	4	31	60	80	80	36	41	0	332	2.5
2月	4	25	64	81	78	58	43	0	353	2.6
3月	5	29	72	88	81	82	46	1	404	2.6
合計	70	335	842	1,079	1,237	697	782	15	5,057	2.7



# サテライト尚古園デザイナーサービスセンター





## 1、利用者生活支援状況（報告）

### （1）総括

令和5年度は新型コロナウイルスが5類へと移行となったが、近隣ではクラスターが発生するなど、引き続きご利用者やご家族の協力を得ながら感染症対策を講じた。ご利用者や職員が新型コロナウイルス感染症に罹患することはあったが、感染が拡大することなく運営することができた。また、新たな在宅サービス統括管理者を中心とし、近隣の居宅支援事業所や包括支援センターなどの関連事業所との関係性の構築に力を入れた。

地域に密着した小規模施設として、個々のご利用者の状態や状況に応じて、きめ細やかなケアが行えた事や、地域行事に参加し交流出来た事はご家族から評価を頂けた。

年間を通じて安全で安心して楽しめる安らぎの場を提供し、一人一人にあった関わりを行う事と、原則、同性介護を実施できたことで、ご利用者の人権・人間性を尊重する基本理念に基づいた通所介護サービスの提供を行うことが出来た。

### （2）利用者生活支援

#### ① 入浴サービス（一般浴・機械浴）

身体状況やご本人に合った入浴方法を考え1対1で関わることを重視しながら、ゆったりした入浴時間を提供出来た。特に同性介護を実施することで、ご利用者のプライバシーへの配慮が出来た。又、着脱や洗身等ご利用者が出来る事は、ご自身で行うよう働きかけを行ってきた。身体状況に応じて特養に併設されている機械浴を利用することで、ご利用者が安全にゆっくりと入浴することが出来た。

#### ② 給食サービス

季節感を味わえるように工夫されたメニューを管理栄養士が作成し提供している。選択メニューや行事食を多く取り入れ、食事がレクリエーションや活動に繋がるケアのひとつとして活用することが出来るよう、自立支援を念頭にサポートしてきた。食事制限のあるご利用者に対する献立の対応や、嚥下や咀嚼状態に応じた食事形態の対応を都度することが出来ており、栄養管理面でのサポートも充実して取り組むことが出来た。

#### ③ 介護サービス

在宅生活が維持出来る事を目標に、ご利用者の身体的、精神的状況に応じた介護サービスを提供した。ご利用者が在宅で生活する為に欠かせない事は、デイでも継続出来るようなアプローチを展開し、過度の介護とならないように状態を的確に把握することに努め、ご家族やケアマネ、協力事業者へも情報提供した。

#### ④ 健康状態の確認

感染症対策を念頭に、ご家族にも健康状態の確認を実施した。状態に変化がみられる場合はご家族へ連絡・報告、受診等の対応をお願いしている。又、ご利用者やご家族の状況に応じて訪問看護との情報共有等を積極的に行い、健康状態を維持することで安定した在宅生活が送れるように努めた。

#### ⑤ 送迎サービス

安全を第一に、個々の状態に合わせて送迎時間等を調整し、独居の方や送迎時にご家族が不在な場合など、個々に対応が違うので生活状況に合わせ、柔軟性のあるサービスで対応してきた。また、定期的に車両の清掃や点検を行い、安全運転に努めたが、ご利用者の身体能力を把握し、状態に合った送迎方法を確実にする事で、安全な送迎を行う事が出来た。また、送迎時のご家族との情報交換を積極的にすすめて、ご利用者の生活支援に繋げている。

#### ⑥ レクリエーション・アクティビティ活動

地域行事として、七夕まつりや信玄公まつり、えびす講まつり等に参加した。感染症対策を行いながら行事を通して地域とのかかわりをもつことができた。デイ内でのイベントや食レクの企画も昨年に取り入れることで楽しんで頂けるものとなった。

⑦ 生活相談・援助

送迎時にはご家族に声を掛け、困りごと等がないか話を聞くなど、話しやすい、相談しやすい雰囲気創出を心がけた。また、スタッフ全員で情報共有し、ご利用者が自宅での生活が継続出来、ご家族の不安を軽減出来るよう努めた。ご家族との連携も密にして、ケアする人をケアする役割も果たしつつある。

⑧ 機能訓練

ご利用者一人一人の身体状態に応じた運動やリハビリ効果のあるレクリエーションを多く取り入れ、身体機能の維持や低下を防止する援助を行なうことが出来た。

⑨ その他日常生活全般にわたる介護

ご利用者の生活状況から、送迎時に戸締り、電気、火の元の確認、服薬確認、移乗の介助などを行い、可能な日常生活のサポートを実施することにより、ご利用者及びご家族との信頼関係の向上に繋がり、充実した内容の介護を実践する事が出来た。

## 2、会議開催状況

会議名	開催時期	内容
スタッフ会議	毎月1回	・ご利用者の変動、利用状況 ・業務改善等      ・ADL状況の変動、対策等
サービス担当者会議	適宜	・ご利用者のアセスメントとケアプラン作成、及び作成したプランの評価・検討・確認のため、ご本人・ご家族・関係職員で協議した。
食事検討委員会	毎月1回	・ご利用者の希望に沿った、より質の高い食の提供を目的とし、献立内容やイベント食等の検討を行い提供した。

## 3、職員研修状況

(1) 事業所内研修 (法人研修含む)

期間	内容	発表・講師等
R5.4	権利擁護・職業倫理・個人情報・プライバシー保護 (身体拘束・虐待防止を含む)	在宅サービス統括管理者
R5.6	防災対策	防災担当
R5.7	衛生管理・食中毒予防	管理栄養士/看護師
R5.8	身体拘束・虐待防止	介護職員
R5.9	防災教育	防災担当
R5.11	高齢者施設の感染対策「口腔ケアで感染予防」	感染対策委員会
R5.12	認知症ケアについて	介護職員
R6.1	「送迎時」「介護事故」における事故防止・緊急時の対応	所長
R6.3	デイサービスにおけるターミナルケアと褥瘡ケアについて	介護職員

(2) 施設外研修

年月日	研修主催者	研修内容	参加	研修場所
R5.6.28～11.2	介護労働安定センター	認知症実践者研修	1	オンライン
R5.7.5	認知症介護研究・研修仙台センター	認知症介護基礎研修	1	eラーニング
R5.9.28	中央ほうかつ	顔の見える関係づくり 中央ほうかつ官内交流会	1	勤医協駅前ビル
R5.11.21	甲府市介護サービス事業者連絡協議会	介護現場における接遇 介護サービスの質向上を目指して	1	甲府市南公民館 1階大ホール

#### 4、ボランティア受け入れ状況

\*コロナウイルス感染症対策として今年度の受け入れは見合わせた。

#### 5、利用者の状況

(1) 行事状況一覧

実施日	内 容	場 所
4月～5月	お花見等、外出レク	近隣の公園（散歩等）
6月～7月	七夕、外出レク	デイホール 地域行事（銀座通り）
8月	夏祭り	デイホール
9月	十五夜・敬老会	デイホール
10月	ハロウィン	デイホール
11月	お楽しみ食(握り寿司パフォーマンス)	デイホール
12月	クリスマス会	デイホール
R6年1月	新年祝賀会	デイホール
2月～3月	節分ランチ・ひな祭り	デイホール

\*上記は主だった行事のみ記載。街中散歩、屋外レクは随時実施

\*誕生日会～毎月1日（誕生日食メニュー） おやつ作り～毎月1回

\*防災訓練～年2回

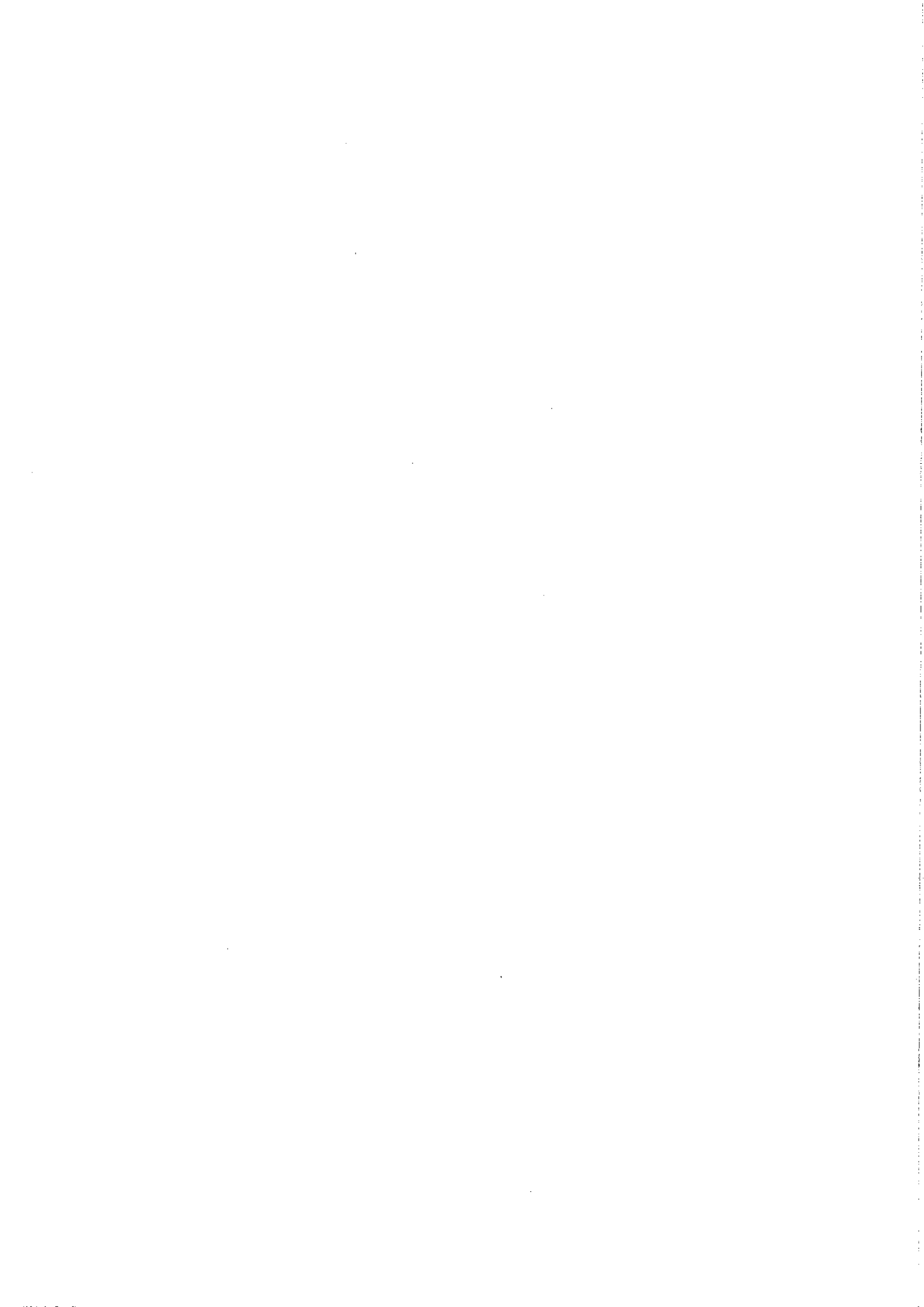
(2) 要介護度別利用状況

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	平均要 介護度
R5.4月	4	0	0	56	41	25	11	137	2.93
5月	4	0	0	55	45	25	10	139	2.93
6月	3	0	0	54	38	26	38	159	3.31
7月	7	0	14	38	36	14	42	151	3.22
8月	9	0	14	45	43	15	47	173	3.22
9月	8	0	13	44	43	14	42	164	3.18
10月	4	0	0	41	37	13	45	140	3.46
11月	5	0	9	46	35	13	51	159	3.33
12月	9	0	8	52	41	15	51	176	3.29
R6.1月	8	0	1	57	46	14	44	170	3.27
2月	8	0	0	58	50	12	44	172	3.26
3月	4	0	5	52	62	13	27	163	2.88
合計	73	0	64	598	517	199	452	1903	3.19



# グループホーム山徑





## 1、利用者生活支援状況（報告）

\*その人に合った食事を提供し、日々のレクリエーションや楽しみを提案し、活性化に繋げる。

食事面ではミキサー食、刻み食など随時スタッフ間で情報共有し、個人に合った食事形態で提供する事が出来た。又、行事や季節にちなんだ食事や誕生日等には好みの物を提供する事も出来た。日々のレクリエーションについては、メニューリストを作成し、頭を使うレク、手先を使うレク、体を動かすレク等、内容が被らないよう実施する事が出来た。季節の行事等は、事前の準備から入居者様に参加して頂き、楽しむことが出来た。

\*その人らしさを大切にし、健康を保ち、安心して安全な環境を提供すると共に、感染症対策の徹底を図る。

基本的な感染対策が徹底されていた為、入居者様が感染症を患う事なく過ごすことが出来た。

コロナについては、職員1名が発症、それとは別にもう1名が濃厚接触者となったが、自宅療養する事で、入居者様の発症は無かった。

又、日々の様子観察から体調変化に気付く事が出来、往診医やご家族様との連携も取れていた。

2月末から制限を緩和し、居室内での面会を再開した。（マスク着用、検温、手指消毒は継続）

\*地域の一人である事を意識し、災害時等に連携出来るような体制を築く。

コロナが5類に移行されるまで、スーパーへの買い物の付き添いは自粛し、地域の行事が軒並み中止され、保育園の運動会への参加や定期的に来所して下さるボランティアの方との交流も出来なかった。運営推進会議では、施設内の状況報告行う等、地域代表者との関りは保ててはいた。

### 〈 総括 〉

近隣でクラスターが発生したり、学級閉鎖があったり、職員（家族）がコロナに罹患するなど、依然として感染症が猛威をふるった1年であったが、入居者様やデイ利用者様への感染は無く過ごせたことはとても良かった。

今年度は、身体機能の低下や体調不良により、2名の方が他施設に入所し、看取りを行わせて頂いた方が1名いたので、計3名退所された。看取りについては、ご家族の意向を受け止めながら、宿泊し付き添ったり連日面会に訪れたり最後の日まで寄り添えることが出来た。整容や環境を整える等きめ細やかなケアの提供も出来た。

日々のちょっとした変化に気づき観察する視点やご入居者に合わせた対応、状態把握に努め、早期発見・早期対応を行い、往診医と連携しながら体調管理に努め、安心して安全な生活に結びつけることも出来た。室内で行える行事や食べ物レク等に力を入れ、少しでも楽しんで頂けるよう工夫して行って来た。又、感染状況を鑑みながら、外出や屋外でのレク等も随時実施出来た。生活の場として入居者様が生き生きと暮らし、ご家族・ご入居者のニーズに応えられる様、職員一丸となり取り組むことが出来たのではないと思う。

## 2、会議開催状況

会議名	開催時期	備考
リーダー会議	毎月1回	利用状況、業務改善等
スタッフ・ケース会議	毎月1回	利用状況、業務改善等
身体拘束適正化会議	3ヶ月に1回	利用者状況、支援内容等
ご利用者・スタッフの話し合い	随時	数回実施（状態変化等）

## 3、年間行事

年月日	内容	場所	利用者数	ご家族数
R5. 4/13	春のお楽しみランチ	山径ホール	9名	0
4/14	ドライブ	愛宕山	9名	0
5/14	母の日、お楽しみランチ	山径ホール	9名	0
7/7	七夕会	山径ホール	9名	0
7/13	ハーモニカ演奏会	尚古園デイサービス	9名	0
7/30	土用の丑の日	山径ホール	9名	0
8/23	夏祭り	山径ホール	9名	0
9/18	敬老祝賀会、ウクレレ演奏会	山径ホール	9名	0
10/18	運動会	山径ホール	9名	0
11/2	ドライブ	愛宕山	3名	0
12/22	クリスマス会	山径ホール	9名	0
12/26. 27	餅つき会、鏡餅作り	山径ホール	9名	0
R6. 1/1	新年祝賀会	山径ホール	9名	0
1/7	獅子舞	山径ホール	9名	0
1/11	鏡開き、餅つき	山径ホール	9名	0
1/15	繭玉作り	山径ホール	9名	0
1/17	ドライブ	武田神社、千代田湖	6名	0
1/18	ドライブ	稲積神社	1名	0
2/3	節分会	山径ホール	8名	0
2/12	バレンタイン	山径ホール	9名	0
3/3	ひな祭り	山径ホール	9名	0
3/16	ドライブ	愛宕山	3名	0
3/19	ドライブ	善光寺、愛宕山	3名	0
3/27	花見会	山径入り口前広場	9名	0

## 4、職員研修状況

### (1) 施設外研修：デイサービス山径共通

年月日	主催	研修名	参加者	場所
R5.9.6～ 12.5	公益財団法人介護労働安定 センター山梨支部	認知症介護実践リーダー研修	1	Web開催
R6.1.22 R6.1.24	厚生労働省	BCP策定支援セミナー	1	Zoom開催

### (2) 施設内研修（法人研修含む）：デイサービス山径共通

年月日	内容	発表・講師等
R5.5.19	個人情報取り扱い・プライバシー保護・衛生管理・職業倫理について 【権利擁護・・・身体拘束／虐待防止も含む】	GH介護職員
R5.6.26	感染症について（オンライン学習）	GH介護職員
R5.7.19	防災教育（講義）	GH介護職員
R5.8.17	衛生管理／食中毒予防について	特養：管理栄養士
R5.9.20	高齢者介護におけるレクリエーションについて	GH介護職員
R5.10.18	感染症・ノロウイルス等のデモンストレーション	GH介護職員
R5.11.22	認知症高齢者のケアについて	GH介護職員
R5.12.13	ターミナルケア・褥瘡予防について	GH介護職員
R6.2.21	身体拘束解消・虐待防止について	GH介護職員

## 5、利用者の状況

### (1) 年齢

年齢	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100～109歳
人数	0	4	5	0

最高年齢・・・98歳  
最低年齢・・・85歳  
平均年齢・・・90.44歳

### (2) 要介護度 平均介護度・・・3.1

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
人数	1	0	5	2	1

### (3) 要介護度の変化状況

介護度の変化状況	人数	介護度の変化状況	人数
1 → 3	1	3 → 4	1

### (4) 入退所の状況

	男	女	計
入所者数	1	2	3
退居者数	0	3	3
入所前状況	自宅・・・2名 サービス付き高齢者向け住宅：1名		
退所理由	特養に入所：1名、医療院へ入所：1名、ご逝去：1名		

### (5) 外泊状況

外泊者：0名

### (6) 入院状況

入院者：2名

(7) 面会状況

年 月	面 会 件 数	年 月	面 会 件 数	年 月	面 会 件 数
R4. 4 月	12	8 月	11	12 月	14
5 月	12	9 月	9	R5. 1 月	13
6 月	9	10 月	10	2 月	12
7 月	11	11 月	12	3 月	6

## 6、運営推進会議の開催

第一回 運営推進会議 令和5年5月23日(月) 14:00～

参加 入居者家族1名・和田町自治会代表1名  
北東包括支援センター1名・有識者1名・所長・介護サブリーダー

議題 ①令和5年度新体制について②入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ③活動状況の報告  
④令和5年度事業報告 ⑤感染対策について⑥その他

第二回 運営推進会議 令和5年7月25日(火) 14:00～

参加 入居者家族1名・北東包括支援センター1名  
有識者1名・和田町自治会代表1名・所長・介護サブリーダー

議題 ①入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ②活動状況の報告③身体拘束適正化について④その他

第三回 運営推進会議 令和5年9月26日(火) 14:00～

参加 入居者家族1名・和田町自治会代表1名・有識者1名  
北東包括支援センター1名・所長・介護サブリーダー

議題 ①入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ②活動状況の報告  
③自施設でのコロナ発生時の対応について ④その他

第四回 運営推進会議 令和5年11月27日(月) 14:00～

参加 入居者家族1名・有識者1名・北東包括支援センター1名  
和田町自治会代表1名・所長・介護職員

議題 ①入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ②活動状況の報告  
③山径での行事報告 ④その他

第五回 運営推進会議 令和6年1月29日(月)

参加 入居者家族1名・有識者1名・和田町自治会代表1名  
北東包括支援センター1名・所長・介護サブリーダー

議題 ①入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ②活動状況の報告  
③ターミナルケア・褥瘡予防の研修報告 ④その他

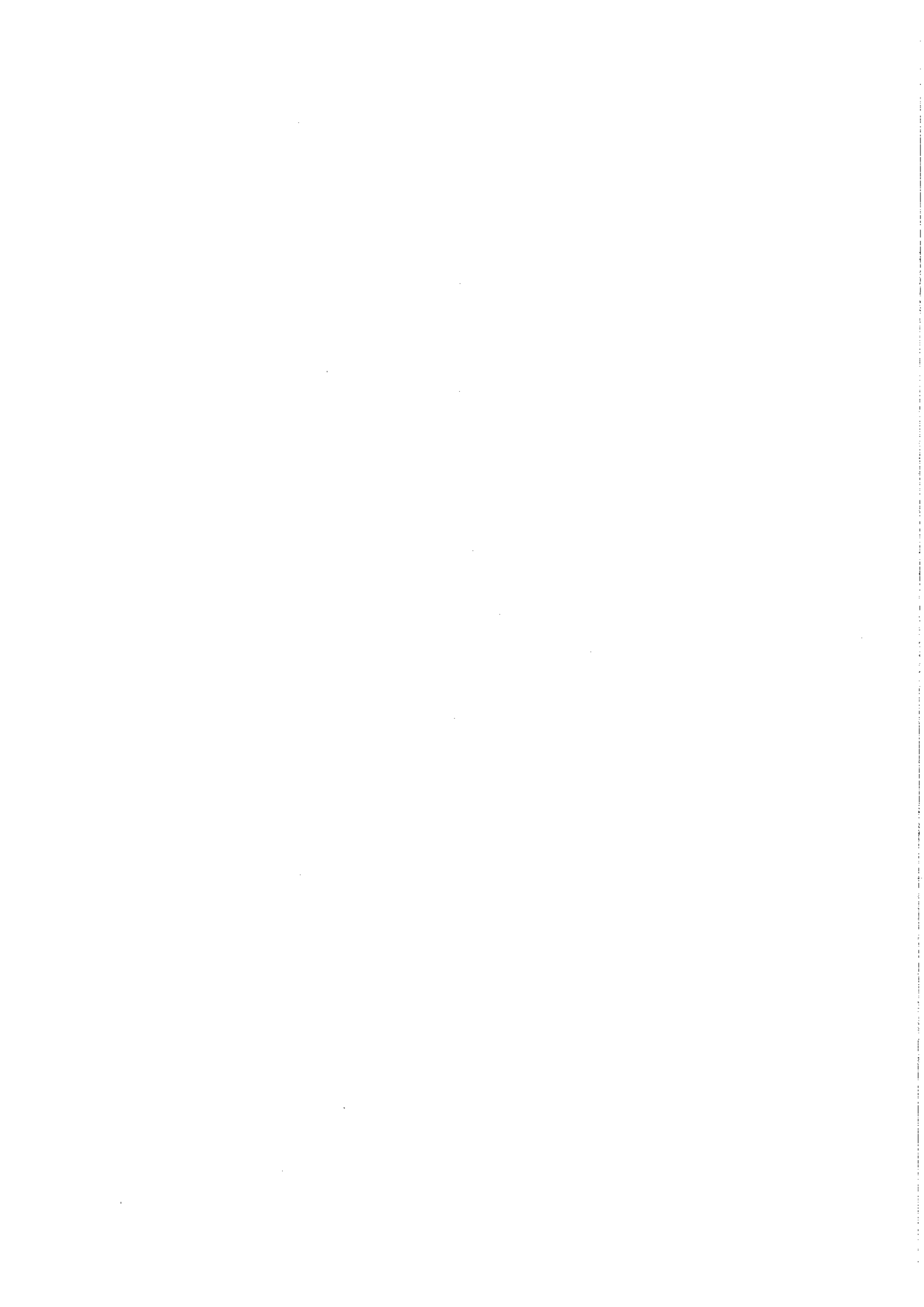
第六回 運営推進会議 令和6年3月25日(月) 14:00～

参加 入居者家族1名・有識者1名・北東包括支援センター1名  
和田町自治会代表1名・所長・介護サブリーダー

議題 ①入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ②通所の状況 ③活動状況の報告  
④令和5年度のまとめ ⑤第三者委員会の報告 ⑥その他

# デイサービスセンター山徑







# 1、利用者生活支援状況（報告）

## （1）総括

5月からコロナが5類に移行となったものの、近隣でクラスターが発生したり、インフルエンザが流行ったりと気が抜けない状況が続いたが、これまで通りの感染予防対策の徹底を図りながら支援を行った。ご家族の協力もあり、コロナウイルス感染症等に罹患する事なく無事に過ごす事が出来た。登録者5名で、皆同居して生活されている中で、送迎時に家の中の支援を行いながら、ご家族の介護負担の軽減に努める事が出来た。

在宅生活が少しでも長く継続出来るよう、ご利用者の個々の状況を的確に把握し、柔軟な対応を心掛け、ご家族の負担軽減にも努める事で、少なからず在宅生活のサポートが出来たと思う。

## （2）利用者生活支援

### ① 入浴サービス（一船浴）

健康状態をチェックし、ご利用者の状態を把握。安全にゆっくりと個々のペースでの入浴が実施出来た。皮膚の状態等、こまかな状態変化にも気付くことができ、ご家族やケアマネと情報を共有し、早期に対応実施する事が出来た。桜の咲く時期には、新浴室にて花見浴を実施し喜んで頂けた。

### ② 給食サービス

五感を刺激しながらの食事作りの中で、食事への楽しみが生まれ、食欲増加へと繋がった。特別食として、誕生日にはその方の好きな物を提供し喜んで頂けた。お楽しみランチを実施したり、外注にてお寿司を購入したりし、普段とは違った食事も楽しんで頂き、また、季節を感じて頂けるような旬の物を使用した献立も好評であった。

### ③ 介護サービス

グループホームの特性を生かして、「通所介護計画書」を作成。家庭での延長と位置付け、介護計画書に添って日常生活動作の中でサービスを提供した。ご家族のニーズに合わせ、利用時のIADLや精神的状況をお伝えすることで、受診の際の日常生活の様子報告にも対応が出来た。

### ④ 健康状態の確認

バイタルチェック、体重測定（月1回）、随時身体チェックを実施。普段と状態に変化がある場合はご家族へ連絡、報告し受診等の対応をお願いしている。又、ご利用者、ご家族、ケアマネからの相談により、個人持ちの薬の管理や手当てのサポートなど、出来る範囲でのアドバイスを行った。

### ⑤ 送迎サービス

ご利用者が安心して乗車出来るよう、定期的に車の清掃や点検を行い、安全運転に努めた。感染対策として、検温の実施や車内の空調に配慮、消毒の実施を行った。送迎の時間を利用して、ご家族との情報交換に努め、信頼関係等を深めることが出来た。

### ⑥ レクリエーション・余暇活動

ドライブ、外気浴、花見浴など、季節の移り変わりを感じる事が出来るよう企画に工夫した。又、昼食の準備や食器の片づけ、洗濯物を干す、たたむ等の作業を実施し、役割を持つ意識を高め、自宅で行えている事が継続出来るように努めた。「脳トレ」を定期的に取り入れ、一人一人の持てる力を見極めながら実施する事が出来た。

### ⑦ 生活相談・援助

日頃の会話の中やケアマネからの情報提供、送迎時のご家族との会話などから、ご利用者やご家族の不安や心配ごとを読み取れるように留意し、気を配るようにした。

担当ケアマネとの情報の共有を行い、一体的な生活のサポートを行えるように、毎月ご利用者の状況や生活に支障がある事などを適宜報告し、より充実したサポートを実施することが出来た。

⑧ その他日常生活全般にわたる介護

ご利用者の生活状況から、必要に応じてライフラインの確認や戸締り、鍵や衣類の管理、服薬支援や洗濯等を行い生活へのサポートも行った。

## 2、会議開催状況

会議名	開催時期	備考
リーダー会議	毎月1回	利用状況、業務改善等
スタッフ・ケース会議	毎月1回	利用状況、業務改善等
ご利用者・スタッフの話し合い	随時	数回実施（状態変化等）

## 3、ボランティア受け入れ状況（グループホーム山径共通）

個人・グループ数	年間延べ人数	内容
0人	0人	

## 4、利用者の状況

### (1) 行事状況一覧

年月日	内容	場所	利用者数
R5.4.13	春のお楽しみランチ	山径ホール	2名
4.14	ドライブ	愛宕山	1名
7.7	七夕会	山径ホール	1名
7.13	ハーモニカ演奏会	尚古園デイサービス	2名
8.23	夏祭り	山径ホール	2名
9.18	敬老祝賀会	山径ホール	2名
10.18	秋季運動会	山径ホール	3名
11.23	ほうとう作り	山径ホール	2名
12.22	クリスマス会	山径ホール	1名
12.26	餅つき	山径ホール	2名
R6.1.15	繭玉作り	山径ホール	2名
1.18	初詣	山径ホール	2名
2.3	節分会	山径ホール	2名
R6.2.12	バレンタイン	山径ホール	2名
3.27	お花見会	山径玄関前駐車場	3名

\*誕生日会～月ごと（行事食メニュー）

\*防災訓練～年2回

## (2) 要介護度別利用状況

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	平均要 介護度
R5.4月	0	0	12	12	0	0	0	24	1.67
5月	0	0	13	12	0	0	0	25	1.67
6月	0	0	13	13	0	0	0	26	1.75
7月	0	0	13	26	0	0	0	39	1.75
8月	0	0	12	32	0	0	0	44	1.8
9月	0	0	12	29	0	0	0	41	1.8
10月	0	0	12	28	0	0	0	40	1.8
11月	0	0	14	26	0	0	0	40	1.8
12月	0	0	12	28	0	0	0	40	1.8
R6.1月	0	0	11	26	0	0	0	37	1.8
2月	0	0	12	28	0	0	0	40	1.8
3月	0	0	12	31	0	0	0	43	1.8
合計	0	0	148	291	0	0	0	439	1.77



# 尚古園指定居宅介護支援事業所





# 尚古園指定居宅介護支援事業所

## 実施内容

1. 介護等の相談の受付・連絡・調整
2. 介護保険更新申請等の書類の代行申請
3. ご利用者の心身の状態の把握やご家族の介護状況・生活の様子の確認
4. ご利用者・ご家族・介護サービス事業者・その他関係機関との連絡・調整
5. 居宅サービス計画の作成
6. 給付管理の実施
7. 介護、医療、福祉サービスの利用状況の確認
8. 福祉・医療機関などとの連携
9. 委託された介護保険認定調査の実施
10. 地域貢献に関わる事項

## 1、重点目標

①甲府市の定める基準に則り、適正なマネジメントを実施していく。

甲府市の定める居宅介護支援における運営基準をもとに、適正なケアマネジメントを実施した。

②運営基準上必要な書類（BCP等）を整備し、適正な事業所運営を目指していく。

介護保険制度の改正等により新たに整備が必要となる書類等の整備にも努め、適正な事業所運営を目指してきた。

③社会福祉法人の運営する事業所として行政や地域の関連機関、また、法人内事業所等と連携し協力しあっていく。

行政機関や地域包括支援センター、また、各サービス提供機関等と連携し、ご利用者やご家族等にとって、介護上より良い課題解決となることを目指しケアマネジメントに取り組んできた。

④ご利用者やご家族の介護上のニーズ（必要性や要望）に幅広く応えられるよう、介護保険制度のほか支援に必要な各種制度の知識・理解を深め、実践力を高めていく。

山梨県や甲府市介護支援専門員協会、行政機関等の主催する研修会へ積極的に参加し、また、介護保険に限らず専門家の開催する研修会に参加し、広く知識を得るように努めてきた。

### 総括

ご利用者の身体的状況や精神的状況、及び、親族関係者を含む社会的状況や経済的状況など、それぞれが抱える課題が複雑に絡みあうケースが増加傾向にある。それらの課題解決にあたっては、これまで以上に介護支援専門員の関わりや調整が重要になっており、介護保険制度以外の活用も必要とされている。

今後は、それらの知識等の習得も心掛けながら、各関係機関との連携や調整を図りつつケアマネジメントを行い課題解決に取り組む機会が多くなるだろうと思われる。

## 2、給付管理など実施状況

(項目)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
給付管理	62	61	62	62	64	65	63	63	64	61	63	63	753	62.7
委託予防	12	13	13	14	13	16	16	17	18	17	16	16	181	15.0
計	74	74	75	76	77	81	79	78	79	75	76	79	923	76.9
認定調査	2	2	3	3	2	3	3	0	6	2	2	2	30	2.5



### 3、研修やその他の事業等への参加状況

年 日	主な研修会や説明会等への出席状況
2023/5/24	山梨県介護支援専門員協会総会、山梨県介護支援専門員協会理事会選挙。
2023/6/5	甲府市居宅介護支援事業者、集団指導、甲府市総合市民会館 1階 芸術ホール
2023/6/8	ケアマネの会北東、事例検討会。北東公民館にて、
2023/6/26	ウェブセミナー「これから求められる在宅現場での栄養管理とは」 講師：杉並 PARK 在宅クリニック院長 田中公孝 先生 ①在宅患者さんの食事・栄養管理における「医師と多職種により良いコミュニケーションの取り方」②苦勞されている方が多い「認知症患者さん」の食事・栄養管理における多職種連携
2023/7/18	在宅医療介護支援体制強化事業、窓口相談対応。山梨県医師会館
2023/8/25	第三者委員会、尚古園新会議室にて
2023/9/21	北東地域包括支援センター主催：ケアマネ交流会 ・甲府市における防災情報、グループワーク：北東公民館 2階多目的集会室。
2023/10/25	権利擁護支援対応力強化研修：山梨県福祉保健部健康長寿推進課：認知症・地域支援担当主催： やまなしプラザオープンスクエア（甲府市丸の内1-6-1）
2023/11/9	ケアマネの会北東事例検討会：尚古園指定居宅介護支援事業所より事例提供「在宅高齢者の栄養管理」深澤幸子講師（山梨県栄養士会 副会長）北東公民館にて開催
2023/11/10	令和5年度介護認定調査員現任研修：オンライン受講 緑が丘ルート of 環境清掃活動、参加
2023/11/14	令和5年度顔の見える関係づくり交流会：山梨県立図書館 イベントホール
2023/11/17	山梨県介護支援専門員協会 第12回地域支部連携研究大会：市川三郷町生涯学習センター「ifセンター」【テーマ】人と心を結ぶ新たな絆：【内容】午前：村田諒太氏による基調講演、
2023/12/13	山梨県介護支援専門員協会スキルアップ研修（山梨県立文学館講堂）：内容：理解力の違いを脳科学より考える。
2024/1/17	B C P策定ウェブセミナー（居宅介護）
2024/1/19	介護支援専門員協会甲府支部主催：主マネ交流会：甲府市総合市民会館 タイトル「介護保険サービスと障害サービスは併用できます」 講師：飯室正明（中北圏域マネージャー）、秋山雅美（ケアセンターまた明日代表）
2024/2/14	山梨県介護支援専門員協会主催：主任介護支援専門員部会「主任介護支援専門員フォローアップ研修」：アイメッセ山梨 4階 大会議室 タイトル「法改定と法定研修カリキュラムの変更に沿った管理者の準備とは」
2024/2/22	第三者委員会、書面開催、
2024/2/21	施設ケアマネ、居宅ケアマネ、合同研修会（事例検討会）：青少年センター
2024/3/7	介護支援専門員協会と相談支援ネットワークやまなし、交流会：きぼうの家研修室 テーマ「きれめのない支援を行うために、お互いの視点を確認しよう」
月1回	山梨県介護支援専門員協会甲府支部運営委員会





## 令和 5 年度事業報告書

社会福祉法人 善 隣 会  
理事長 廣 瀬 朱 實

〒400-0001 山梨県甲府市和田町 2948 番地の 6

TEL 055-253-7231 FAX 055-253-7228

<https://www.zenrinkai.or.jp>

E-mail [honbu@zenrinkai.or.jp](mailto:honbu@zenrinkai.or.jp)

令和 6 年 5 月発行